井原儀編

帝國物産地誌 全

東京春陽堂發行

帝國物產地誌

緒言

近年我ガ邦ニ於テ地理書ノ出版日ニ月ニ增加シタルハ實ニ斯ノ學ノ爲ニ賀スベキノ至ナリサレドモソノ多クハ單ニ教科書トシテ編纂セラレ實業者等汎ク一般ノモノニ益ヲ與フルコト極メテ尠キハ世人ノ深ク遺憾トスル所タリ編者曩ニ讀者ヲシテ一目内外地理ノ大要ヲ理解セシメンガ爲ニ出來得ル丈地理上ニ顯ルヽ事實ヲ表トナシ又汎ク實業者等ノ參考ニモナサント欲シ實業ニ意ヲ注グコトヽナ

シテ地理書ヲ上梓セリ今復ソノ方針ヲ以テコノ書ヲ著シ一ハ教科書一ハ實業家及受驗者ノ用ニ充ツルコトヽナセリサレドモコノ書編者ノ淺學ナルト職務ノ餘暇ニ成リシガ故ニ誤謬疎漏ノ點多カルベシ幸ニ讀者諸君ノ教示ヲ仰ギコレヲ訂正スルコトヲ得バ幸甚

明治三十三年三月

編者識

帝國物産地誌目次

第一編　帝國ノ總說

位置……一
境域……二
廣袤……三
形狀……六
海岸……七
海流……一六
山系……二一
水系……二九
平野……三八

氣候……四二
天產……四六
住民……五八
行政……八一
生業……一〇二
交通……一八三

第二編　各道物產ノ比較

畿內……二一〇
東海道……二三八
東山道……二六五
北陸道……二九八

帝國物產地誌目次 終

山陰道……三一五
山陽道……三二〇
南海道……三三六
西海道……三四六
北海道……三六六
臺灣……三八八

目次

濱縮緬

友禪染

生絲

麥稈眞田

岐阜提燈

華莚

岐阜行燈

緞通

宇治茶

輪島塗

羽二重

若狹塗

七寶燒

九谷燒

京團扇

外交界地圖

例凡

- ⊙ 地在所館使公本日
- ○ 地在所館事領本日
- ● 地要重
- 界國
- 道鐵
- 路線信電底海
- 路航船本日
- 路航要主船國外

帝國物産地誌

井原儀編

第一編 帝國總說

位置

我カ大日本帝國ハ、舊世界ノ極東即亞細亞大洲ノ東邊、太平洋ノ西北隅ニ位セル一帶ノ島嶼國ニシテ、東北ヨリ斜ニ西南ニ延長シ、ソノ全部ハ北半球内ニアリ、東ハ東經百五十六度三十二分ナル千島國占守島ノ東端ニ起リ、西ハ同百十九度二十分ナル澎湖群島花嶼ノ西端ニ盡キ、南ハ北緯二十一度四十五分ナル臺灣ベールレート列岩ノ南端ニ始リ、北ハ同五十度五十六分ナル千島國阿頼度島ノ北端ニ終ル、即帝國ハ東西三十七度十二分ニ亘リ、南北二十九度十

一分ニ達シ、延長凡二千二百餘里ニ及ベリ、

境域　我ガ帝國ノ西北ハ日本海ヲ隔テヽ、露領西比利亞ノ沿海州ニ、宗谷海峽ヲ以テ樺太島ト相對シ、東北ハ千島列島ノ北方千島海峽ヲ以テ、西比利亞ノ東察加半島ノ南端ヲ、パッカ岬ト相接ス、ソノ西方ニオホーツク海アリ、南ハバッシー海峽ヲ隔テヽ、北亞米利加合衆國領フイリッピン群島ノ呂宋島ト相對ス、ソノ間凡一百里、東ハ一帶渺茫タル北大平洋ニ枕ミ、凡四千五六百里ヲ隔テヽ、北亞米利加大洲ニ向ヒ、小笠原群島ハ東南ニ羅列シテ、直ニ南洋諸島ニ連レリ、西ハ日本海、黃海、東海、及朝鮮海峽、臺灣海峽ニヨリテ西比利亞、韓、淸ノ三國ニ對ス、就中韓國ノ慶尙道ト我ガ對島トノ間ハ僅ニ十數里、淸國ノ福建省ト、我ガ澎湖群島トノ間ハ、二三十

廣表　我ガ帝國ハ、本州、四國、九州、十州、臺灣ノ五大島ト、淡路、隱岐、壹岐、對馬ノ五中島ト、千島、琉球ノ二列島及小笠原、澎湖ノ二群島、ソノ他大小合シテ五百九十七ノ島嶼ヨリ成レリ、就中最大ナルモノヲ本州トシ、十州、九州、臺灣、四國ノ諸島コレニ亞グ、今各島ノ面積ヲ相比較スレバ、左ノ如シ、

(一)五大島

(二)五中島

順次	名稱	本地面積	屬島數	屬島面積	合計面積
一	本州	一四四九二方里	一六六	七八	一、四五七一方里
二	十州	五〇五六	一二	五	五〇六一
三	九州	二三一一	一五〇	三〇五	二六一七
四	臺灣	二二五二	二九	六	二三五三
五	四國	一一五一	七四	二九	一一八〇

順次	名稱	本地面積	屬島數	屬島面積	合計面積
一	佐渡	五六方里			五六方里
二	對馬	四三			四四
三	淡路	三六	一		三六
四	隱岐	二二	一		二二
五	壹岐	八	一		八

(三)二列島

順次	名稱	島數	面積
一	千島	三二	一〇三三方里
二	琉球	五五	一五六

(四)二群島

順次	名稱	島數	面積
一	澎湖	四七	一四方里
二	小笠原	二三	四

島嶼ハ臺灣及澎湖群島ヲ除クノ外ハ、周圍ミナ凡一里以上ノモノヲ載スト雖ヒ、一里以下ニシテ住民アルカ、若クハ望標等ノ用ヲナスモノハ、右ニ算入ス、面積ノ方里以下ハ略セリ

我ガ全帝國ノ面積ハ、凡二萬七千〇六十二方里、即四十一萬五千方粁ナレバ、世界全陸地ノ凡三百二十五分ノ一ニ當リ、亞細亞洲ト比較スレバ、凡ソノ百七分ノ一ニ當ルベシ、尚我ガ帝國附近ノ諸國ト比スレバ、露領西比利亞ハ我ガ帝國ノ凡二十九倍、清國ハ凡二十五倍、北亞米利加合衆國ハ凡二十二倍ナレドモ、韓國ハ凡我ガ帝國ノ二分ノ一、北亞米利加合衆國領布哇州ハ凡二十三分ノ一ニ當レリ、幅員ハ廣キ所、六十里ニ及ベドモ、狹キ所ハ三十里ニ過ギズ、

形狀

我ガ帝國ハソノ配列三連ノ寶珠ヲ彎曲セルモノニ似タルヲ以テ、西洋人稱シテ花彩島ト謂フ、我ガ國人ハ古來蜻蜓ニ類スルトテ蜻蛉國ト呼ベリ、本州ハ恰蛟龍ノ𠂤ク字形ニ南ヨリ北ニ向ヒテ、身ヲ起スガ如シ、ソノ頭首ハ北ニ向ヒテ直立シ、陸奥灣ハ口ヲ開クガ如ク、東山道ハソノ背脊ノ地位ヲ占メ、東海北陸ノ兩道ハ、ソノ左右ノ脇肋トナリ、關東地方ハソノ肩ニ當リ、近江ノ琵琶湖ハ、ソノ臍トナリ、幾內ヲソノ腰トシ、山陰、山陽ノ兩道ヲソノ尾トシ、安房、能登ノ南北兩半島ハソノ兩脚ノ狀ヲナセリ、本州ノ北津輕海峽ヲ隔テ、十州即古ノ蝦夷島アリ、ソノ形鯖魚ノ尾ヲ奮フニ似、本州ノ西南下ノ關海峽ヲ挾ミテ九州アリ、ソノ形猿猴ノ立チテ舞フモノヽ如ク、四國ハ本州ノ西南、九州ノ東ニ橫ハリテ蝙蝠ノ兩翼ヲ張ルモノヽ如シ、臺灣ハ九州ノ遙西南清國ノ福建省ト相對スル所ニアリテ、大魚ノ尾ヲ搖シ、東北ニ向ヒ噏スルモノヽ如シ、

海岸

我ガ帝國ハ四面海ニヨリテ圍繞セラレ三連ノ弓狀ヲナシ、太平洋面ニ突起シテ大陸面ニ凹陷セリ、大洋面ハ海岸ノ屈曲甚シケレドモ、大陸面ハコレニ反シテソノ出入極メテ少ナク、凡ソノ二分ノ一ニ過ギザルベシ、海岸線ノ延長ハ諸大島中五大島第一ニ居リテ、二列島ニ六倍シ、五中島ニ十四倍シ、二群島ニ五十四倍セリ、五大島ニテハ二千四百七十五里ナル本州最長クシテ臺灣ノ三百五十二里ヲ最短シトス、五中島ニテハ對馬ヲ推シ、千島三十二島ノ六百十三里ハ二列島ニ、小笠原二十三島ノ七十一里ハ二群島ニ冠タリ、今ソノ諸島ノ海岸線ヲ比較スルヿ左ノ如シ、

(一)　五大島

順次	名稱	本地周圍	屬島周圍	合計
一	本州	一九五二里	五二二里	二四七五里
二	九州	八六一	九八五	一八四六
三	四國	四五一	二二四	六七五
四	十臺灣	五八三	四五	六二八
五		二九九	五二	三五二

(二)五中島

順次	名稱	本地周圍	屬島周圍	合計
一	對馬	一八六里	一九里	二〇六里
二	隱岐	七四	一	七五
三	佐渡	五三	—	五三
四	淡路	三八	二	四〇
五	壹岐	三五	一	三七

(三)二列島

順次	名稱	本地周圍	屬島周圍	合計
一	千島	六一三里	—	六一三里
二	琉球	三一五	—	三一五

(四)二群島

順次	名稱	本地周圍	屬島周圍	合計
一	小笠原	七一里	—	七一里
二	澎湖	二〇	二〇	四〇

我ガ帝國ハ地勢狹長ニシテ長サ凡一千二百里ニ及ビ、海岸線ノ延長ハ七千四百三十二里ニ亘リ、全陸地ト比較スレバ一ト三、六二ノ割合ナナセルガ如ク、海岸ノ屈曲多キガ故ニ隨テ海港水利ニ富メリ、概スルニ北部ハ岩礁多ク、東南ノ半

部ハ良港ニ富ミ、海陸ノ運輸極メテ便ナリ、斯ク海岸ニ屈曲多キハ文化ノ由テ來ル所ニシテ英國、希臘ノ文明ニ赴キシヲ觀テモ知ルベキナリ、獨我ガ國ノ海岸線ニツキテ缺點トスル所ハ、斷岩絶壁ナルト遠淺ニシテ大船巨舶ヲ容ルヽニ適セザルヿ是レナリ、サレドモ海岸ノ遠淺ナルコトハ却テ製鹽業ヲ助クル所ナキニシモアラザルベシ、

右ニ述ブルガ如ク我ガ帝國ハ比較的海岸ノ屈曲ニ富メルヲ以テ諸大島各良港ヲ有セリ、左ニコレヲ略記セン、

(一)本州

東ハ東經百四十二度十四分ナル伊豆國小笠原島東島ノ東端ヨリ始リテ、西ハ同百三十度四十四分ナル長門國豐浦郡蓋井島ノ西端ニ終リ、北ハ北緯四十一度三十三分ナル陸奥國下北郡辨天島ノ北端ヨリ起リテ、南ハ同二十四度十四分ナル伊豆國小笠原島硫黄島ノ南端ニ盡ク、ソノ海岸線ハ兩面ソノ趣ヲ異ニセルヲ見ルベシ、

(甲)太平洋面

北東地方ハ屈曲出入甚シク牡鹿、松島兩灣ノ外ハ、狹小ナル港灣ヲ有スルノミナレドモ、東南及西南地方ハ良港ニ富ミ、東京、相摸、駿河、三河、伊勢、大阪、廣島等枚擧ニ遑アラズ、我ガ帝國中最文明ニ赴キシ地方ナリ、

(乙)日本海面

率一直線ニシテ若狹、七尾、富山ノ二三灣ヲ形クルノミ、

(二)九州

東ハ東經百三十二度四分ナル豐後國南海部郡大島ノ東端ヨリ起リテ、西ハ同百二十八度十五分ナル大隅國大島郡與論島ノ西端ニ盡キ、北ハ北緯三十三度五十八分ナル豐前國

企救郡速鞆崎ヨリ始マリテ、南ハ同二十六度五十九分ナル大隅國大島郡奥論島ノ南端ニ終リ、本州ハ面積ノ割合ニ艮港ニ富メリ

東海岸ハ大分、臼杵、佐伯等ノ外殆一直線トナリ、剰ヘ沿岸遠淺ノ所多キハ一ノ缺點トス、コレヨリ南部ニ進メバ志布志、鹿兒島ノ兩大灣アリ就中鹿兒島ハ九州ノ南部中第一ノ艮港トナス、

西海岸ニハ天草、島原、有明、千々岩、長崎等ノ諸灣アレドモ、長崎ヲ除クノ外ハ沿岸遠淺タルヲ免レズ、北ニハ伊萬里、唐津、福岡ノ諸灣アリテ皆艮港ナリ、

(三)四國

東ハ東經百三十四度四十九分ナル阿波國那賀郡伊島ノ東端ヨリ、西ハ同百三十一度五十九分ナル伊豫國西宇和郡佐田岬ニ至リ、南ハ北緯三十二度四十二分ナル土佐國幡多郡沖島ノ南端ヨリ北ハ同三十四度三十四分ナル讃岐國小豆郡小豆島金ケ崎ニ至ル、本島ハ五大島中面積ノ最小ナルニモ拘ラズ、比較的海岸ノ屈曲ニ富メリ、

東南ノ兩部ニハ德島、土佐ノ兩灣アルモ、屈曲甚ダシカラズ、コレニ反シテ西ニハ宿毛、宇和島、八幡等ノ諸灣相出入シテ本島中海岸線ノ多キ所トス、北部ニハ高松等ノ外殆出入ナク、且沿岸遠淺ナレバ船舶ノ碇繫ニ難シ、

(四)十州

東ハ東經百四十六度七分ナル根室國花咲郡タラク島ノ東端ヨリ、西ハ同百三十九度十一分ナル渡島國松前郡大島ノ西端ニ至リ、南ハ北緯四十一度二十一分ナル同國同郡小島ノ南端ヨリ起リテ、北ハ同四十五度三十分ナル北見國宗谷

郡宗谷岬ニ盡ク、本島モ亦本州島ト同ジクシテ太平洋面ト日本海面トハソノ趣ヲ異ニセリ、

(甲)太平洋面

北海岸ニハ只不完全ナル網走港アリ、東海岸ニモ亦根室、厚岸ノ兩灣アルノミニシテ殆一直線ヲナセリ、函館ノ良灣及噴火灣ハ南海岸ニアリ、

(乙)日本海面

石狩灣等ノ外海岸ノ出入鮮シ

(五)臺灣

東ハ東經百二十二度七分ナル羊頭島ノ東端ヨリ始リ、西ハ同百二十度三分ナル國聖港西方砂洲ノ西端ニ終リ、南ハ北緯二十一度四十五分ナルベールレート列岩ノ南端ヨリ起リ、北ハ同二十五度三十八分ナルアギシコート島ノ北端ニ

盡ク、コノ島モ亦十州ニ類シテ海岸線ノ發達不充分ニシテ灣曲ニ乏シ、今太平洋及大陸ノ兩面ニヨリテ觀察スレバ左ノ如シ、

(甲)太平洋面

海水ハ非常ニ深キモ率斷崖絕壁ニシテ、基隆、蘇澳、繡坡蘭等ノ小港アルノミナレバ、大船巨舶ヲ容ルヽニ適セズ、

(乙)大陸面

東岸ニ比スレバ出入多キモ砂州ナナシテ、海水ノ淺キハ缺點ナリトス、獨淡水、打狗等ガ港ノ形ヲ備フルノミ、淡水港ヨリ東ニ廻レバ基隆港アリテ內地ノ浦賀ト相類セリ、要スルニ海岸線ニ富メル國ハ、自然ニソノ地ノ住民ヲシテ心意ヲ濶達ナラシメ、行動ヲ活潑冒險ナラシメ、併セテ進取ノ氣象ヲ生ゼシムルモノナレバ國運ノ消長ニ關係ヲ與フ

ルコト決シテ少々ニアラサルベシ、昔時カノフィニシア人ガ動作果敢ニシテ冒險能ク航海商業ヲ盛ナラシメ、以テ古代ノ大商業國トシテ世界ニ雄飛セシヲ見テモ亦知ルベキナリ、

海流　海洋表面ノ或部ニ於テ著シキ運動ヲナシ、殆一定セル方向ニ進行スル流水ヲ海流トイヒ、ソノ溫度ヲ空氣中ノ平均溫度ニ比シテ高キカ、又ハ低キカニ從ヒテ暖流及寒流ノ二種ニ分テリ、我ガ帝國ノ近海ヲ流ルヽ海流ニハ南ヨリ來レル暖流アリ、又北ヨリ來レル寒流アリ、左ニコレヲ略記セン、

(甲)暖流

黑潮

日本海流ト稱セラルヽ黑潮ハ、暗黑色ヲ呈スルガ故ニ、俗ニコレヲ黑瀨川ト云フ、赤道流ト名ヅクル暖流ノ餘派ニシテ北太平洋還流ノ一派ナリ、コノ海流ハ北緯二十二度、東經百二十二度ニ當レル臺灣島ノ南方近海ヨリ來リ、宮古島ノ北方ニテ二派ニ分レリ、

本派ハ北東ニ向ヒテ進ミ、九州島ノ南東岸、四國及本州ノ南岸ヲ經テ、御倉島トノ間ニ於テソノ流域分明トナリ、所謂黑瀨川ヲナシ、コレヨリ方向ヲ北ニ轉ジ、犬吠崎ノ海岸ヲ洗ヒテ東ニ折レ、東經百五十度附近ニテ再大小ノ二派ニ分ル、ソノ小派ハ北方ニ向ヒベーリング海峽ニ入リテ東察加海流トナリ、他ノ大派ハ南東ニ向ヒテ進ミ、北太平洋ノ隨風海流ニ合セリ、

支派ハ北ニ向ヒテ、九州ノ西岸ヲ洗ヒ、對馬ノ東方ニ出デヽ、對馬海流トナリ、日本海ニ入ルヤ又二派ニ分レ、一ハ北進シ

テ韓國ノ東海岸ニ沿ヒテ流レ、西比利亞沿岸ノ海中ニ消滅ス、一ハ東北ニ進ミ日本海ノ東半部ヲ流レ、ソノ一小部ハ津輕海峽ニ入リテ消ヘ、他ノ大部ハ十州ノ西岸ヲ洗ヒ、宗谷海峽ヲ經テ、オホーツク海ニ入ル、

要スルニ黑潮ハ四十里乃至二百里ノ廣サト、一日ニ十八里乃至百里ノ速度ヲ有ス、ソノ溫度ハ最高二十八九度ニシテ最低七度ヲ有スルモ、支流ノ溫度ハ概シテ本流ノ溫度ヨリ二三度低シトス、コノ暖流ニ洗ハルヽ國々ハ、ソノ影響ヲ享ケテ大ニ氣候ヲ溫暖ナラシムルノミナラズ、水產業ヲ以テソノ國ヲ富マセルコト、豈少々ニアラザランヤ、

(乙)寒流

(一)千島海流

千島海流ハ暗濁色ヲ呈シ、一ニ親潮トイヒ、オホーツク海ノ東北、西比利亞氷岸ノ邊ヨリ起レル北太平洋ノ極流ナリ、東察加半嶋ノ東西兩岸ヲ南流スル千島及極洋ノ兩派ヲ合シテ、千島諸島ヲ洗ヒ、十州ト本州ノ東岸ヲ流レテ、犬吠岬ノ邊ニ於テ南ヨリ來レル黑潮ト衝突シ、全クソノ跡ヲ失ヘリ、ソノ一派ハ津輕海峽ヨリ日本海ニ入リ、朝鮮海峽ノ邊ニテ來滿海流ト合シテ南進セリ、

千島海流ノ幅員ハ冬季ニ增シテ夏季ニ減ズ、平均凡二百里、ソノ速度ハ黑潮ノ二分ノ一ニ過ギザルモ、南下スルト海岸ニ接近スルトニヨリテ減少セリ、ソノ溫度ノ如キモ黑潮ノ水溫ヨリ低キコト五度乃至八度ニシテ、附近ノ氣溫ト比スレバ低キコト六度ニモ及ブベシ、

(二)樺太海流

コノ海流ハオホーツク海ノ西北ヨリ起リ、南進シテ樺太島

ニ衝突シ二派トナル、一ハソノ西岸ヲ流レテ韃靼海峽ニ入リ、黑龍江ノ寒流ヲ合セ、日本海ノ北西岸ヲ洗ヒテ流レ、朝鮮海峽ニ入リ、再黃海ニ入リテ清國諸大河ノ流水ト相混ジ、南ニ進ミテ臺灣海峽ニ達セリ、是レ即樺太海流ノ西派ニシテ、又來滿海流ノ稱アリ、一ハ樺太島ノ東岸ヲ流レ、再二派トナリ、ソノ一部ハ宗谷海峽ニ入リテ暖流ニ混ジテ消滅シ、他ノ一部ハ東南ニ流レテ國後島、擇捉島ノ邊ニ至レリ、コレヲ樺太海流ノ東派ト名ク、

右ニ述ベタル諸寒流ノ爲ニ洗ハルヽ北海道ノ東北岸ハ、ソノ氣候ヲシテ大ニ寒冷ナラシメ、冬季海水ノ氷結スルコト二里乃至五里ニ及ブト云フ、サレバ海流ノ爲ニ氣候ノ影響ヲ受クルコトハ、極メテ大ナルモノニシテ、從テ人民ノ繁殖、ソノ他ノ動植物ノ生育ニ密接ナル關係ヲ與フルモノナリ、

サレドモコレ等ノ海流ニヨリテ洗ハルヽ海岸ニハ、鯨、鰊、鮭等ノ水產物ヲ產スルコト最多ク、北海道ニ於テハ年々凡千有餘萬圓ノ產額アリテ、全國總水產額ノ殆三分ノ一ヲ占ム、ソノ附近ノ海岸ガ世界ノ三大漁場ニ加ヘラルヽモ、豈故ナキニアラザルベシ、コレヨリ南部、言ヲ換ヘテ云ヘバ寒流ヲ遠カルニ隨ヒテ漸々ソノ產額ヲ減少セリ、サレバ我ガ帝國ノ水產物ハ水溫ノ寒暖ニヨリテ分布上北部ニ豐富ニシテ、南部ニ寡少ナルコヲ知ルベキナリ、

山系

我ガ帝國ハ山國ナレバ、平地ハ僅ニ全帝國ノ面積ノ凡九分ノ一ヲ占ムルノミニシテ、到ル所山岳相重疊セリ、ソノ山系ノ主要ナルモノ二ツアリ、各ソノ來レル土地ニヨリテ名ケラレ、一ヲ崑崙山系トイヒ、一ヲ樺太山系トイフ、三大火山脈ソノ間ニ連レリ、コレ等ハ皆地質上古生紀山系ニ

屬スルモノナリ、

(甲)崑崙山系

コノ山系ハ亞細亞大陸ノ支那山脈ノ餘脈ニシテ、又支那山系又ハ南彎ト稱セラレ、南西ヨリ北東ニ向ヒテ走レリ、コノ山系ニ屬スル主要ナル山脈ト、コレニ屬スル主峯ヲ擧グレバ左ノ如シ、

一　九州南部山脈　市房山　祖母山
二　阿蘇火山脈　阿蘇山　英彦山　由布山　石鎚山　高縄山
三　九州北部山脈　寶滿山　福智山
四　中國山脈　蜓　山　比叡山　愛宕山
五　四國山脈　吉森山　劍　山
六　紀伊山脈　高野山　那智山　大臺原山
七　鈴鹿山脈　鈴鹿山　膽吹山
八　白山火山脈　白　山　大　山　三瓶山
九　飛騨火山脈　御　岳　乘鞍岳　鎗ヶ岳　立　山
一〇　赤石山脈　赤石山　駒　岳　白根山　秋葉山

ソノ、他臺灣山脈アリ、新高山ハ高サ凡一万二千八百五十尺、全帝國中第一ノ高峯タリ、

(乙)樺太山系

コノ山系ハ露領樺太島ヨリ來レルモノニシテ本土列島ノ北部ヲ組織シ、北東ヨリ南西ニ向ヘリ、又コレヲ北彎ト稱ス、コノ山系ニ屬スル主要ナル山脈トコレニ屬スル主峯ヲ擧グレバ左ノ如シ、

一　後志火山脈　有珠岳　樽前岳　惠　山　駒ヶ岳
二　東北山脈　宗谷岳　天鹽岳　十勝岳　夕張岳
三　陸奥火山脈　恐　山　岩手山　磐梯山

四　羽越火山脈　岩木山　鳥海山　月山　飯豊山
　　早池峯
五　北上山脈　早
六　三國火山脈　吾妻山　那須岳　日光山　淺間山
七　阿武隈山脈　靈　山　八溝山　筑波山
八　關東山脈　甲武信岳　武甲山　雨降山
要スルニコレ等ノ山脈ガ我ガ帝國ヲ縱橫ニ蜿蜒起伏シ、能ク水氣ヲ蓄ヘテ、河水ノ泉源ヲナシ、能ク草木ヲ生ジテ、涼氣ヲ送リ、氣候ヲ和ゲリ、又山中金屬及非金屬ヲ產スルヿ夥シ、就中石炭、銅ノ產出ハ、ソノ名ヲ世界ニ轟カシメ、又木曾ノ山林ノ如ク十五萬町歩ニモ亘リ五木ノ名產アラシメ、ソノ他秋田、天城、日向、吉野ノ如ク各良材ノ產出ヲ以テ名アルアリ、又我ガ邦人ノ氣質ヲシテ森嚴雄壯、堅忍不拔ニ感化セシムルモノモ蓋皆山岳ノ恩賜ニアラザルハナシ、

(丙)三大火脈

(一)富士火山脈

崑崙樺太ノ兩山系ノ地脈ノ縫裂線ニ當レル所ハ、甲信地方ニシテ全國中土地最高峻ナルノミナラズ、太平洋及日本海ノ兩海岸ノ距離最遠カリタル部分トナス、コノ結合點ヲ富士火山脈ト稱ス、コノ山脈中ニハ全帝國中第二ノ高峯タル富士山ヲ始メトシ、ソノ他ノ高峯秀嶺巍々トシテ千秋ニ聳ユ、コノ宏大ナル大火山脈ハ、南走シテ伊豆半島ヲ經テ、太平洋ニ入リ豆南諸島、小笠原群島、硫黃列島ヲ噴起シテ、南洋ノマリアナ群島ニ達セリ、コノ火山脈ニ屬セル主要ナル山岳左ノ如シ、

三原山　天城山　箱根山　富士山　八ケ岳　燒山

(二)千島火山脈

コノ火山脈ハ露領西比利亞ノ東察加半島ヨリ起リテ、南西ニ走リテ千島列島ヲ噴起シ、十州島ノ東端知床岬ニ進ミテ、艮牛山、雌雄ノ兩阿寒山、ヌタツプカウシツペ、オプタテシケトナリテ、ソノ中央部ニ連レリ、コノ山脈ニ屬スル主要ナル山岳左ノ如シ、

硫黄山　雌阿寒山　雄阿寒山

(三)霧島火山脈

コノ火山脈ハ南方臺灣島ヨリ來リテ先島列島、沖繩、大島、七島ノ諸群島ヲ噴起シ、薩摩ノ開聞岳、御岳トナリ、北西ニ轉ジテ肥後ノ金峯山、肥前ノ溫泉岳、多艮岳ニ至リテ止ム、コノ山脈ニ屬スル主要ナル山岳ハ左ノ如シ、

開聞岳　御岳　霧島山　溫泉岳　多艮岳

右ニ列擧シタル本邦三大火山脈ニ分布スル火山ノ數ハ百七十二座ニ達ス、就中三十七座ヲ活火山トシ、百三十五座ヲ休火山トナス、今ソノ著シキモノヲ擧グレバ左ノ如シ、

(イ)活火山

樽前山　那須山　淺間山　三原山　霧島山　阿蘇山

(ロ)休火山

艮牛山　硫黄山　雌阿寒山　駒ケ岳　恐山　岩木山　西吾妻山　磐梯山　富士山　燒山　又各大島中火山ノ最多キモノハ本州島トナス、十州、九州コレニ次グ、

(1)本州島及屬島	九七座
(2)十州島及屬島	四六
(3)九州島及屬島	二六
(4)四國島及屬島	三

斯ク我ガ帝國ハ世界中有名ナル火山帶ニ屬シ、全世界火山

數ノ凡四分ノ一ヲ占ムレバ、屢ソノ破裂ヲ來タシ、又ハ地震ヲ起シ人心ヲシテ恐怖ノ念ヲ懷カシムルガ如キモ、コレニ馴レタル我ガ邦人ニハ餘リソノ影響ヲ與ヘザルナリ、只ソノ恩澤ニ浴シ我ガ帝國ヲシテ富マシムルモノハ火山國ニ特有ナル硫黄ノ產出是レナリ、千嶋及跡佐蝦ハソノ產出ノ夥シキヲ以テソノ名ヲ知ラレ、北米合衆國等ニ輸出スル額、決シテ少々ニアラザルナリ、

溫泉ハ地熱ノ作用ニヨリテ、平均氣溫以上ノ溫度ヲ有スル鑛水ヲ噴出スル泉ナレバ、火山脈ノ通過セル地方ニ最夥シトス、我ガ帝國ハ上ニ述ベシガ如ク火山ニ富メル所ナルヲ以テ、從テ溫泉ニ富メルコトモ、世界各國多クソノ比ヲ見ザルベク、ソノ數凡五百餘ニ達セリ、東山道最多クシテ百數十箇所アリ、九州等コレニ次グ、ソノ溫度ハ各地異ナリト雖モ、

率攝氏四十度乃至五十度ノモノ最多シ、箱根ノ如ク往々九十度ニ達スルモノアリ、又五種ノ泉類中最多キハ硫黄泉ニシテ、ソノ數三百以上アリ、コレニ次グモノヲ鹽類泉、鹽泉ト云ス、炭酸泉、鐵泉ハ較鮮シ、

(1)硫黄泉　草津　伊香保　熱海　蘆ノ湯(箱根)　道後

(2)鹽類泉及鹽泉　鹽原　塔ノ澤(箱根)　有馬

(3)炭酸泉　別府　柄崎

(4)鐵泉　湯本(箱根)　鐵輪

火山脈ノ附屬物トシテ本邦各地ニカク溫泉ノ湧出多ケレバ、我ガ邦人ノコレガ爲ニ病痾ヲ癒スルモノ、神爽ノ氣ヲ養フモノ多シ、

水系　我ガ帝國ハ上ニ述ベタルガ如ク、山岳丘陵ニ富ミ、且四面海ナルヲ以テ南ヨリ流ル、暖流アリ、北ヨリ來レル

寒流アルヲ以テ空氣濕潤、從テ降雨多キニヨリ、水流甚多ク、吾人ニ灌漑ノ利ヲ與フルコト極メテ大ナリ、

夫レ河水ノ流通ハ、山脈ノ位置ト相關係シ、山脈ハコノ分水界トナリ、地勢南北ニ長キ所ハ河水率東西ニ向ヒテ流レ、東西ニ長キ所ハ、南北ニ向ヒテ流ルヽヲ常トス、水誌上我ガ邦土ヲ北海、太平洋、西海、日本海及內海ノ五斜面ニ分タレタリ、又河流ノ長短ハソノ山脈阪陂ノ長短ニ由ルモノナリ、然ルニ我ガ邦ハ土地狹小ニシテ、ソノ幅員三十里乃至六十里許ナルト山脈ノ傾斜急峻ナルトヲ以テ長流大河、廣大ナル湖沼アルヲ見ズ、率急流ナラザルハナシ、又我ガ邦ノ河川ハ中流ヲ有セザルヲ以テ、沈澱ノ餘地ナク土砂ヲ流下ス、因リテ河口ニ三稜州又ハ沼澤ヲ形ルコト多ク、從テ河口ニ良好ナル港ヲ有スルコトナシ、是レ我ガ邦ノ河川ノ缺點トスル所ナルベシ、

北海道ヲ除キテ全國六十五ノ大河アリ、石狩川ヲ以テ本邦第一ノ大河長流トナス、長サ百六十七里、信濃川コレニ次ギテ長サ百里、ソノ他ハ何レモ延長百里ニ足ラズ、今左ニ五十里以上ノ河川ヲ列擧セン、

順次	河名	延長里程	舟筏航通里程
一	石狩川	一六七里	一六七里
二	信濃川	一〇〇	六三
三	北上川	七九	七六
四	阿武隈川	七七	三五
五	天鹽川	七四	
六	利根川	七一	七一
七	最上川	六二	五四

八	天龍川	六〇	五六
九	射水川	五八	
一〇	阿賀川	五七	四五
一一	十勝川	五三	
一二	神通川	五二	
一三	江ノ川	五〇	

又流ルヽ方向ニヨリテ、左ニ著名ナル河川ヲ掲グ、

(1) オホーツク海ニ注グモノ、

湧別川　常呂川　斜里川

(2) 日本海ニ注グモノ、

天鹽川　石狩川　後志川　岩木川　能代川　御物川

最上川　阿賀川　信濃川　神通川　射水川　日野川

由良川　簸川　江川　松本川　遠賀川

(3) 太平洋ニ注グモノ、

釧路川　十勝川　北上川　阿武隈川　利根川　荒川

馬入川　富士川　大井川　天龍川　木曾川　宮川

神宮川　紀川　吉野川　仁淀川　渡川　五箇瀬川

大淀川

(4) 瀬戸内海ニ注グモノ、

大和川　淀川　加古川　東大川　西大川　蘆田川

沼田川　大田川　岩國川　佐波川　厚東川　山國川

大野川　肱川

(5) 支那東海ニ注グモノ、

筑後川　菊池川　球磨川　川内川

(6) 支那南海ニ注グモノ、

淡水河　大肚溪　下淡水河

要スルニ本邦ノ山岳巍々トシテ聳エ、樹林ハ鬱蒼トシテ風致ヲ添ヘ、河流ハ洋々トシテ國中ヲ通貫シ、率明清ナラザルハナシ、蓋シソノ水量ノ豊富ニ基クモノナリ、コレ等ノ河水ハ能ク飲料ニ適シ、能ク灌漑ニ適シテ、農産物ヲ豊富ナラシメ、又能ク交通運輸ノ便ヲ助ケ、又コノ水力ヲ利用シテ諸種ノ工業ヲ發達セシメ、養魚ニ適シテ水産物ヲ生ゼシムル等河水ノ人民ニ利益ヲ與フルコト頗ル偉大ナリ、故ニ古代文化ノ未普カラザル時ニ當リテヤ、人民ノ繁殖、人智ノ發育、文化ノ進歩ハ、コノ天然ノ現象ニ職由セザルハナシ、彼ノ埃及國ノ文明ハナイル河邊ニ生ジタレバ古來史家稱シテ埃及ハナイルノ賜ナリトイヘリ、ソノ他バビロン國ハユーフレート、チグリス兩河邊ヨリ、印度國ハガンガ河ヨリ起リタルニアラズヤ、飜テ本邦ノ市府ヲ觀ヨ、東京ノ文化ニ趣キシモ、大

阪ノ商業ガ本邦ニ冠タルニ至リシモ、亦皆コノ河川ノ賜ナラザルハナシ、河川ノ文化ニ影響セル功力又大ナルカナ、

地勢上我ガ邦ノ斜面ハ甚急ニシテ、コレヲ流下スル河流ハ、上流ノミニテ中流ヲ有セザルガ多ク、率山岳ノ間ヲ貫流スルヲ常トス、サレバソノ沿岸ハ怪岩奇木ニ富ミ、又所々ニ瀑布ノ懸ルアリテ風景絶佳ナル所少カラズ、瀑布中著名ナルモノハ、北海道ノ石狩、下野ノ華嚴、越後ノ布引、飛驒ノ白水、美濃ノ養老、加賀ノ千仞、丹後ノ布引、紀伊ノ那智、伊豫ノ高瀑等ナリ、

湖沼ハ山間及海濱ニ散在ス、概シテ山間ニ在ルモノハ、ソノ水清ク、海濱ニ在ルモノハ、ソノ水鹹シ、本邦ニ於ケル天然湖ハ、三類ニ區別セラル、

(一)平湖……(1)海水ノ遺物、
(2)陷落セシ地面ノ凹處ニ水ノ溜リシモノ、
霞ケ浦　八郎潟　十和田湖　諏訪湖
(二)陷湖……山谷ノ凹處ニ水ノ溜リシモノ、
琵琶湖　中禪寺湖
(三)山湖……火山ノ噴火口ニ水ノ溜リシモノ、
赤城湖　榛名湖

琵琶湖ハ近江ノ中央ニ在リテ、若狹、大阪及伊勢ノ三大灣ニ挾マレリ、形ノ琵琶ニ似タルヲ以テソノ名アリ、東西ノ幅一里乃至五里、南北ノ長サ十六里、面積八十一方里、最深キ所ハ三百尺ニ達シ、海面ヲ拔クコト凡三百三十尺、世ニ稱ス、八百八水ヲ受ケ、唯一ノ勢多川ニヨリテ海ニ注グト、實ニ我ガ帝國第一ノ大湖ナリ、湖中源五郎鮒ノ外漁業ノ利夥シ、湖邊ニ

ハ近江八景ノ勝地アリ、竹生島モ亦風景ノ佳ナルヲ以テ聞ユ、湖上汽船會社ノ設アリテ交通ノ便ヲ與ヘ、又沿岸ノ地方ハソノ灌漑ノ利ヲ享ケリ、

琵琶湖ニ次ギテ大ナルモノヲ、霞ケ浦トイフ、ソノ他周圍三里以上ノ湖沼、全國四十餘アレドモ、十里以上ノモノハ、僅ニ十五六ニ過ギズシテ、率十州及本州ノ兩大島ニ散在セリ、

(一)本州島
(1)琵琶湖(七三)　(2)霞ケ浦(三六)　(3)猪苗代湖(一六)
(4)中海湖(一六)　(5)八郎潟(一六)　(6)北浦(一五)
(7)小河原沼(一四)　(8)宍道湖(一三)　(9)印旛沼(一二)
(10)十和田湖(一〇)

(二)十州島
(1)猿澗湖(一〇)　(2)支笏湖(一五)　(3)風蓮沼(一五)
(4)屈斜路沼(一三)　(5)網走湖(一一)　(6)洞爺湖(一〇)

本邦ノ湖沼ハ、海面以上ニ位スルモノ多シ、中禪寺ノ如キハ

四千四百二十尺ノ高地ニアリ、今ソノ二三ヲ列擧セン、

中禪寺湖(四四二〇)　諏訪湖(二六四〇)
蘆　湖(二三二〇)　猪苗代湖(一八〇〇)
十和田湖(一三二〇)　琵琶湖(三一〇)

要スルニ湖沼ニハ率魚介類ヲ産ス、琵琶湖ノ源五郎鮒、霞ケ浦ノ櫻鰕、蘆湖ノ山椒魚ニ於ケルガ如ク、漁業ノ利ヲ與フルノミナラズ、琵琶湖、猪苗代湖ノ如キ汽船ノ設アリテ、貨物ノ運輸、旅客ノ來往ニ便シ、又ハソノ灌漑ニヨリテ農業ヲ盛ナラシムル等、湖沼ノ吾人ヲ益スルコト頗多シ、

平野　地學上土地ノ高低ニヨリテ、山地、高地、低地及窪地ノ四類ニ區別セリ、本邦ニハ窪地ヲ有スルコトナシ、窪地トハ海面以下ノ土地ヲイフ、

(甲)山地　海面上七百米以上ノ土地、

(1)十州　千嶋帶山脈地　日高山脈地　後志山彙地
(2)本州　中央山脈地　富士帶山脈地　赤石山脈地
　羽越山脈地　紀伊山脈地
(3)四國　四國山脈地
(4)九州　阿蘇山脈地

山地ヨリハ材木及鑛物ヲ産シ、殖産上吾人ニ利益ヲ與フルニ止ラズ、尚降雨ノ煤介トナリ、水源トナリ、排水ヲ掌リ、烈風ノ堡障トナレルモ、地味ハ瘠薄ニシテ農耕ニ適セズ、人民ノ生活モ亦難シ、

(乙)高地　海面上七百米以下二百米以上ノ土地、

(1)十州　日高高原　十勝高原
(2)本州　中央高原　紀伊高原　中國高原

高地ハ氣候山地ト同シク凛烈ニシテ、寒暑ノ差甚シキヲ以テ、人生ノ發達ヲ妨グルコト少カラズ、地味ハ耕作ヨリハ寧牧畜ニ適セリ、

(丙)低地　海面上二百米以下ノ土地、

低地トハ平野、平原、沼地及三稜洲ヲ云フ、山岳丘陵到ル所ニ相連ナルノ本邦ニ於テハ、廣大ナル平野ヲ見ルコトナク、或ハ山間ニアリテ谷底平野ヲナスアリ、或ハ海濱ニアリテ海岸平野ヲナスアリ、コレ等ハ皆沖積ノ新期層ヨリ成レルモノナリ、ソノ湖河ニ沿ヘルモノハ、地味殊ニ肥沃、穀果豐饒ナリ、本邦ニアリテ最廣大ナルヲ關東ノ平野ト稱シ、利根川、荒川ノ流域ニアリテ、四方凡三四十里ニ亘ルノ大平野ナリ、灌漑ノ利交通ノ便共ニ備ハリ、且米穀菜蔬ノ産ニ富ミ、本邦ノ首都コヽニ置カレ、實ニ我ガ帝國文化ノ中心ナリ、ソノ他石狩平野、濃美平野等アリ、

(1)十州　石狩平野(長三十七里幅五里)　十勝平野(長二十里幅各餘里)

奥ノ平野　最上平野(長數十里農産地)

(2)本州　越後平野(長四十里米穀産地)　關東平野(長幅各三四十里五穀菜蔬産地)

濃美平野(菜穀産地)　畿内平野(風景秀美)

(3)四國　阿波平野(藍ノ産地)　讃岐平野(四國第一ノ平野)

(4)九州　筑前平野(農産地)

要スルニ平野ハ、概シテ地味肥沃ニシテ、人生ニ必要ナル禾穀菜蔬ヲ産シ、交通ノ便ヲ與ヘ、製造業及商業ヲ營ミヤスク、最人類ノ棲息ニ適スルノ土地ニシテ、本邦四千五百餘萬ノ人民ヲ住セシム、又人ノ氣質ヲシテ優雅博愛ノ情アラシメ、又快活ナル精神ヲ具ヘシム、實ニ平野ハ人生ノ發達、百業開進ノ淵源ナリ、

氣候ノ良否、地味ノ肥瘠、灌漑ノ適否、交通ノ便否、土地ノ榮否、人口ノ稀密、文化ノ遲速等ハ以上ニ述ベタル土地高低ノ現象ニ基ヅクモノナリ、

氣候　氣候ハ緯度ノ高低、土地ノ高低及狀態、風及海流ノ方向、海陸ノ關係等ニヨリテ、變化スルモノナリ、我ガ帝國ハ北オホーツク海ノ氷洋ニ接シ、南ハ太平洋ニ面シ、熱帶地方ニ近ヅケルガ如ク、ソノ地勢ハ狹長ニシテ且土地ノ高低ハ著シク、暖寒二流ノ海岸ヲ洗フアリ、太平洋ヨリ溫氣ヲ送ルアリ、西比利亞地方ヨリ乾燥ナル西北風ノ來ルアリテ、各地ノ氣候ハ自異レリ、今北部ナル札幌（北緯四十三度十六分）ト、南部ナル恒春（同二十二度四分）トノ溫度ヲ比較スルニ、札幌ハ平均七度ナルモ恒春ハ二十四度ニシテ十七度ノ差ヲ生ゼリ、故ニ南部地方ニテハ、熱帶地方ト同ジク棕櫚、仙人掌、椰

樹ノ如キ植物能ク繁茂スベキモ、東北地方ナル福島ノ北部ニ至レバ、竹類野生セズ、十州ノ如キハ松柏ノ類トナリ、最北部ニ進メバ寒地ノ情況ト異ナラザルナリ、

諸道ニ就キテ氣候ノ概略ヲ擧グレバ、東海道ハ地氣溫和、畿內ハ秋冬ノ外風少ク寒暖宜シキヲ得、東山道ハ霜雪早ク降ル、殊ニ岩代以北ノ地ハ冬時積雪地ヲ蔽ヒ春半ニ至ラザレバ消融セズ、兩羽ハ風力甚强シ、北陸道モ亦風强ク冬時雪多ク、民業ヲ妨ゲ、旅行ヲ斷ツニ至ルモ夏時ハ高溫度ニ昇ルコトアリテ、寒暖ノ差甚シトス、山陰道マタコレニ類ス、山陽道ハ地氣溫和風少ナシ、南海道ハ暖ニシテ高地ニアラザレバ積雪ヲ見ズ、夏時ハ頗炎熱ナリ、西海道ハ暖多ク寒少ナク、冬時僅ニ雪ヲ見ルノミ、臺灣島ハ暑熱甚シク、惡疫常ニ流行セリ、北海道ハ、寒流ノ岸ヲ洗フト、緯度ノ高キトヲ以テ、寒威凜烈

殊ニ甚シク、盛夏ノ晝間ニアラザレバ、單衣ヲ穿ツモノナシ、カクノ如ク各地氣候ヲ異ニセルモ、概シテ我ガ邦ノ氣候ハ溫和ニシテ、平均溫度十二度ナリトス、恰内地ニテハ金澤、新潟ト相似、外國ニテハ北京、釜山（サンフランシスコ）等ト相類セリ、

溫度ト氣壓ノ關係ハ反對ノ狀態ヲ顯ハスモノニシテ、溫度高ケレバ氣壓ハ低ク、溫度低ケレバ氣壓ハ高キモノナリ、而シテ空氣ノ流動ハ、氣壓ノ高キ所ヨリ低キ所ニ向フモノナレバ、冬時西比利亞ヨリ、寒冷ナル西北風、日本海ヲ通過シテ、水分ヲ吸收シ來リ、北越ノ高山ニ觸レ、凝結シテ大雪ヲ來セリ、又印度洋ノ定風タル季候風ハ、七八月ノ頃東南風トナリテ、我ガ邦ヲ通過スルヤ、家屋ヲ壞リ、田畑ヲ荒シ、人畜ヲ害スルコト屢ナリ、

雨雪ノ量ハ全國ヲ通ジテ多シ、殊ニ六月及九月ハ甚シク、概シテ雨量ノ多キハ南部ニシテ北部ニ少シ、又西海岸ニ多クシテ、東南海岸ニ少シ、蓋我ガ邦ハ四周海ナルト、貿易風及季候風ノ影響ヲ被ルコト多ケレバナリ、全國平均ノ雨量ハ千五百七十三耗ニ達シテ上海ハソノ五分ノ四、北京ハ二分ノ一、（サンフランシスコハ三分ノ一、浦鹽斯德ハ四分ノ一ニ當レリ、）四國及九州ノ南部ハ多雨ノ地ニシテ、瀨戸内海沿岸地方ハ寡雨ノ地トス、蓋十州鹽田アラシムルモ亦コレガ爲ナリ、今本邦中多雨、寡雨ノ兩地方ヲ示サバ、左ノ如シ、

(甲)多雨ノ地方
- 臺灣ノ北部（二三三・六）
- 加能越地方（二〇四八―二一五〇五）
- 四國及九州ノ南部（二〇五一―三四八一）

(乙)寡雨地方

松島灣以北東岸及十州ノ東南海岸（一三七五―七〇九）

瀨戸内海沿岸地方（一五六七―一〇三六）

本州ノ中央部（一五八三―一〇九八）

要スルニ我ガ帝國ハ北極圈寒帶ヲ距ルヿ二十一度四十五分、恰北溫帶中ニ位シ、氣候概シテ中和ニシテ、ソノ暑熱モ人ヲシテ懶惰ナラシムルニ至ラズ、ソノ寒烈モ植物ノ生長ヲ妨害スルニ至ラズ、加之土地肥沃、山川清秀、菜穀魚鹽ノ利アリ、猛獸毒蛇ハ稀ニシテ人類ノ生活及繁殖ニ適シ、併セテ進取ノ氣象ニ富マシム、實ニ幸福ナル國土ト謂フヘキナリ。

天産　我ガ帝國ハ土地狹小ナリト雖ドモ、諸種ノ天産ニ富メルヲ以テ著ハル、左ニ鑛物、植物及動物ノ三類ニ分チテ、

ソノ概略ヲ示サン、

(甲)鑛物

鑛産物ハ古代ニ成レル山岳ノ累層中ニ出ヅルモノ多シ、動植物ノ如クソノ分布ハ一定ノ帶中ニ限ラズシテ廣ク各地ニ散在ス、ソノ種類如何ハ一國ノ盛衰ヲトスルニ足ルベシ、石炭及鐵ノ如キ、或ハ硅砂、鹽、粘土ノ如キ皆工業上缺クベカラザルモノニシテ、殊ニ石炭及鐵ノ有無ハソノ國ノ盛衰ニ關係スルコト極メテ大ナリ、彼ノ英國ノ隆盛ニシテ宇内ニ雄飛スルモ亦コレガ爲ナリ、ヨリテ稱セラル石炭及鐵ハ文明ノ母ナリト、

我ガ邦ハ概シテ鑛物ニ富メリ、殊ニ石炭ヲ産スルコト多ケレドモ鐵ノ産少シトス、コレ等ノ鑛物ノ區域ヲ示サバ左ノ如シ、

(一)二大煤田　十州ノ西南部、
　　九州ノ西及北部、

(二三)鑛區　一區　三陸、兩羽、磐城、岩代ノ地方、
　　二區　三備、美作、出雲、安藝、伊豫ノ地方、
　　三區　濃飛越前ノ地方、

有名ナル金屬及非金屬ノ鑛坑及坪數ヲ最近ノ調査ニ據リテ列擧スルコト左ノ如シ、

順次	鑛種	鑛區	坪數	順次	鑛種	鑛區	坪數
一	石炭	一九二八	二、三四一〇万坪	一一	銀銅鉛	一一六	八〇二万坪
二	銅	九二一	五四一四	一二	滿俺	二四二	七七六
三	金銀	二〇四	二〇一一	一三	銀鉛	八四	七二四
四	銀銅	二七九	一七七九	一四	安質母尼	一五九	五七五
五	石油	三三八	一七七三	一五	金銀鉛	一五	二四三

六	金銀銅鉛	三九	一七一二	一六	銀銅鐵	五	一一九
七	硫黃	一七八	一二〇一	一七	金銅鉛	二	一一八
八	金	二〇七	一一二四	一八	銅鐵	六	一一三
九	鐵	七一七	一〇四七	一九	銅鉛	二三	九五
一〇	銀	一五五	八二二	二〇	錫	一三	七三

石炭　ハ我ガ邦各地ニ產スルト雖トモ、ソノ良質ニシテ且多量ヲ產スルハ、二大煤田ニ若クモノハナシ、九州煤田ニアリテハ、筑豐炭田最廣クソノ採掘ノ頗古キコトハ貝原益軒ノ筑前土產考ニ「遠賀、鞍手、嘉麻、穗波及宗像ノ山野ニ燃石ナルモノアリ、村民之ヲ取テ薪ニ代用セリ、遠賀、鞍手特ニ多シ、頃年糟屋ノ山ニモ堀レリ、煙多クシテ臭惡シ、ト雖モ、燃火久シク、水風呂ノ釜ニ焚キテ良シ、民用ニ最モ便ナリ」云々ヲ記スルヲ見テモ知ルベシ、サレドモ一般ノ需要ニ應ズル

ニ至リシハ、寶曆、明和ノ頃ヨリナリ、今ハ田川、鞍手、嘉穗、遠賀及企救ノ筑豐五郡ノ鑛區二千五百餘萬坪ニ上リ、六十餘億斤ヲ產スルニ至レリ、若松、蘆屋、門司、馬關諸港ヨリ輸出スルヿ少カラズ、サレドモソノ品質ノ良カラザルハ、一ノ缺點ナリ、唐津、高島、三池ノ如キハ火力强ク粘質モ多クシテ、大ニソノ聲價ヲ博セリ、十州ニアリテハ、空知、夕張、幌內等ノ諸坑アリテ、ソノ區域各十數里ニ亘レリ、夕張炭ハソノ品質良好ニシテ、亞細亞、北米、伊太利各地方ニ輸出セラレ好評ヲ得タリ、ソノ他本州ニハ長門、紀伊、磐城、信濃等ニ產セリ、

要スルニ產額ノ最多キハ福岡縣ヲ以テ第一トシ、十州コレニ亞ギテ、ソノ凡六分ノ一ニ當レリ、現今我ガ邦ハ工業、製鹽業、船舶及鐵道ノ發達日ニ月ニ盛大トナリテ、ソノ需用益增進スルノミナラズ、東洋一般ニ製造業等ノ發達セシニヨリ、

本邦炭ヲ輸入スルヿト、極メテ多ク、シンガポール、香港、上海ノ三大港ニテハ本邦炭最勢力ヲ有シテ、英國、印度、濠州等ノ外國炭ヲ壓倒セリ、殊ニ輸出ノ多キハ高島炭ニシテ夕張、金田諸炭コレニ次グ、

本邦炭ト外國炭トヲ比較スルニ、外國炭中最上等ニ位スル英國炭ハ、ソノ質最柔カク、赤色ヲ帶ビ、コレヲ破碎スレバ內部ハ外面ト異ナリ、薄黑キ銀色ヲ帶ブ、コレ英國炭ノ特有スル色ニシテ需用者ノ喜ブ所ナリ、濠州及ボルネオ炭ハ英國炭ヨリ堅ク色赤シト雖モ、小礫砂利ヲ含有スルヿト比較的多ク、ソノ內部モ外面ト同一ノ色澤ヲ有セリ、然ルニ本邦炭ハ採掘後日數ヲ經ルニ從ヒテ、色澤性質等ヲ變ジ、又ソノ火力ヲ減ジ、率外國炭ト異ニシテ小塊多粉ナルガ如シ、カヽル下等品ニシテ年々二百五十餘萬噸ノ輸出ヲナセルハ、價額

ノ廉ナルト、各地粉炭ヲ使用セルト、比較的良質ナルトコ原因スルモノトス、實ニ石炭ハ本邦重要物産ノ一ニシテ、ソノ盛衰ハ我ガ國家ノ貧富ニ影響スルコト斟カラズ、

銅　ハ黃銅鑛トナリテ出デ、鑛脈確實、鑛區廣大ニシテ將來有望ナルモノナリ、足尾ヲ第一トシ九百萬斤ノ產アリ、別子ノ凡六百餘萬斤コレニ次ギ、阿仁及荒川ノ五百餘萬斤又コレニ次グ、ソノ他永松、幸生(羽前)、尾去澤(陸中)、面谷(越前)、神岡(飛驒)、草倉(越後)、尾平、遊泉寺(加賀)、天和(大和)、吉岡(備中)、藏目喜(長門)、打馬(出雲)、笹ケ谷(石見)等アリ、近年造船業及各種ノ電氣事業ノ隆盛ニ赴キシカバ、ソノ需要俄ニ增加セリ、本邦ニアリテハ年々三千餘萬斤ヲ產シ、世界中北米合衆國、イベリア半島、智利ニ次ギテ第四ノ產出國ニ位シ、英獨等ニ輸出スルコト極メテ多シ、

金銀　ハ純金銀鑛トナリテ產スルアリ、或ハ銅鉛等ト共ニ出ルアリ、故ニソノ產地ハ全國ニ散在スレドモ、ソノ產額ハ多カラズ、佐渡ノ金坑ハ慶長以來ノ採掘ニシテ頗古ク、ソノ產額モ非常ニ多カリシガ、現今ハ鹿兒島縣ノ山ケ野、芹ケ野及鹿籠ヨリ出ダス所ノ九萬匁、本邦ニ冠タリ、佐渡相川ノ六萬匁、生野ノ二萬九千匁、加賀ノ二万匁等コレニ次グ、合シテ本邦產スル所凡二十七萬六千匁、

銀ハ、羽後ノ院內、阿仁ヨリ出ス七百十四萬匁ヲ第一トシ、岐阜縣ノ美濃國畑佐及飛驒國莊川、馬瀨、神岡等ヨリノ百九十餘萬匁、生野及大森ノ各百餘萬匁コレニ次ギ、佐渡、薩摩又コレニ次グ、本邦年々凡千四百餘匁ノ產アリ、

ソノ他多田(攝津)、半田(磐城)、小眞木、小坂、大葛(陸中)等ノ鑛山ヨリ金銀ヲ產スルコト多シ、

鐵　大ハ軍艦ヨリ小ハ器械ニ至ルマデソノ需要ニ充テラレ、鑛物中重要ナルモノニシテ、多クハ磁鐵鑛、褐鐵鑛、赤鐵鑛トナリテ發見セラル、本邦ニテハ鐵鑛極メテ少ケレバ年々產スル所ノ額僅ニ七百五十餘萬貫ニ過ギザレバ、每歲英、獨、米等ヨリ洋鐵ヲ輸入スルヿ夥シ、釜石地方ヨリ產スル四百餘萬貫ヲ以テ本邦鐵產地ノ第一トシ、島根縣ノ百餘萬貫、廣島、鳥取兩縣ノ八十餘萬貫コレニ次ギテ著ハル、釜石、中小坂(上野)ノ如キハ岩鐵鑛ナレドモ、廣島、島根、鳥取縣地方ニ產スルモノハ砂鐵ナリ、概シテ本邦ニハ砂鐵多クシテ岩鐵少シトス、

右ノ鑛物ノ外安質母尼ハ伊豫ノ百五十萬貫ヲ推シ、全國ノ產額ノ過半ヲ占ム、周防ノ四十萬貫コレニ次グ、鉛ハ美濃、飛騨ノ四十八萬斤ヲ第一トシ、陸前ノ三十四五萬斤コレニ次グ、就中濃飛ノ產ハ全國總產額ノ凡二分ノ一ヲ占ム、滿俺ハ全國二千五百萬斤ヲ產ス、北海道ヲ第一トシ、ソノ他羽後、丹波、下野、加賀、周防、豐後ニ產セリ、硫黃ハ全國二千二百萬斤ヲ產シ、北海道凡ソノ二分ノ一ニ當リ、跡佐登ヲ以テ第一トス、陸中、信濃、豐後、大隅、薩摩、日向コレニ次ギ、盛ニ北米合衆國ニ輸出ス、石油ハ至テ少ナク、全國僅ニ二十三萬石ノ產出ニ過ギス、越後ソノ過半ヲ占メ、遠江コレニ次グ、綠礬ハ備中、備後、豐後ニ多ク、黑鉛ハ濃飛、加賀、薩摩ニ多シ、ソノ他、大理石、石膏、石灰石、雲母、石英屬、陶土、蠟石等アリ、

要スルニ鑛物中金屬ニテハ金銀銅鐵、安質母尼ヲ最トシ、非金屬ニテハ石炭、硫黃、陶土ヲ推ス、皆諸種ノ工業ニ需要セラレ、本邦重要ナル鑛產物タリ、

(乙)植物

我ガ帝國ハ地形狹長ニシテ溫熱兩帶ニ跨リ、四面海ヲ以テ圍繞シ、土壤ハ肥沃、雨量モ亦多キガ故ニ植物ノ種類モ亦頗ル多シ、

九州ノ南部及小笠原、琉球、臺灣諸島ニハ、樟、榕樹、杪欏、羊齒、烏木、蘇鐵、芭蕉、椰子、鳳梨、檳榔樹、露兜樹、無花果等ノ熱帶性ノ植物繁茂シ、江南竹及甘蔗ノ如キハ盛ニ成長スレドモ本州ノ北部地方ニハ殆ンド見ズ、コレニ反シテコノ邊ニハ欵冬、イタドリ等非常ノ大サニ繁生セリ、

九州、四國、本州ニハ溫帶性ノ植物ニ富ミ、松、杉、檜、樅、欅、山毛欅、公孫樹等ノ木材アリ、煙草、甘蔗、麻類、桑、楮、櫨樹、五穀類ハ盛ニ成長シ、桃、梨、梅、櫻、柿、蜜柑ノ如キ果樹アリ、

十州及千島ニハ寒帶性ノ植物多ク、椴松、赤楊、楡、琪琳樹、欵冬、林檎ノ類アリ、

海產植物ニテ海苔、褐帶布ノ如キハ、ソノ分布廣ケレドモ、昆布ハ北部ニ多ク、石花菜、羊栖菜、黑菜等ハ中部及南部ニ多シトス、

要スルニ、右ノ植物ヲ位置ニヨリテ、南帶、中帶及北帶ノ三部ニ區別スルコトヲ得ベシ、何レモ皆北東季候風帶即日支帶ノ北部ニ屬スルモノナリ、

(丙)動物

動物ハ植物ノ如ク著シキ帶ヲナサズトイヘドモ、南北又ソノ種類ヲ異ニセリ、南部ニハ豹、水牛、綿羊、璃瑁、珊瑚、綠蠵龜等ヲ產シ、北部ニハ鰊、鱈、鮭、海扇貝、熊、臘虎、海豹、膃肭臍、鯨等ヲ產ス、鯛、鰕、鮎、章魚、鳥賊ノ如キハ中部ニ產スルヿ多シ、鯖、鮪、鰹、鰤ノ如キハ廻游魚ト呼バレ、風潮ニヨリテ、常ニ移轉セリ、

要スルニ吾人ガ日常衣食住ニ供ズルモノハ、皆右ニ述ベシ

天産物ヨリ仰ガザルハナシ、大古矇昧ナル世ニアリテ原人ノ繁植セシハ、皆コノ生活上必需ノ品ナ備フル所ニ在リ、埃及國ノナイル河邊ニ起リ、カルデア國ノユーフレート、チグリス兩河邊ニ建國セラレ、印度國ノガンガ河邊ニ創リシモ、皆然リ、吾人ノ天産ヨリ受クル所豈大ナラズヤ、

住民　我ガ帝國ノ有スル四千五百餘萬ノ人民ナ大別シテ、大和種族、アイヌ種族、支那種族及臺灣種族ノ四種トナスヲ得ベシ、

(甲)大和種族

大和種族ハ、蒙古人種ニ屬シテ、清韓人ト類似セリ、高加索人種ニ比スレバ、軀幹ハ甚長大ナラズト雖モ、德義ニ勇ニ、智巧ニ富ミ、品格頗高尚ナルハ彼レト相伯仲ス、實ニ本邦人ハ天賦ノ良國ニ生活シ、ソノ氣象ハ勇敢毅節ニ富ミ忠愛惇直ニシテ進取ノ志アリ、特ニ美術ニ長ズ、サレドモ氣質ハソノ風土如何ニヨリテ變化セラルヽモノナレバ、各地多少異同ナカラザルベカラズ、畿內ノ人ハ意匠ニ富ミ、嫻雅ノ風アリ、東海道ノ人ハ疏通慧敏、東山道ノ人ハ朴直ニシテ頑、北陸道ノ人ハ實直、山陰道ノ人ハ巽順ニシテ狹固、山陽道ノ人ハ溫和ニシテ文雅、南海道ノ人ハ敦厚、西海道ノ人ハ剛直ナリ、

(乙)アイヌ種族

アイヌ種族ハ、上古我ガ關東地方ニ住セシモノアリシガ、近世ニ至リテハ十州ノ山地ニ隱遁シ、ソノ人口モ大ニ減少シテ一萬七千餘人アルノミ、性魯鈍ニシテ溫順ナリ、

(丙)支那種族

支那種族ハ往時ヨリ歸化セシモノアリシガ、近年南部地方ヨリ來住セシモノ多シ、性質ハ故國ニ同ジクシテ商業ニ巧

ナリ、

(丁)臺灣種族

臺灣種族ハ擺安(パイワン)、阿眉(アミ)、知本(テプン)ノ如キ生蕃ト平埔蕃(ヘポホン)ト云ヘル熟蕃ノ二種ニ分レリ、生蕃ハ野蠻種族ニシテ熟蕃ハ半開ノ民ナリ、

本邦ノ人民ハ四種族ヨリ成レルモ、大和種族最多ク、凡四千二百餘萬ヲ有シ、全人口ノ十中八九ヲ占ムルヲ以テ、清國、露國等トハソノ趣ヲ異ニス、即我ガ帝國ハ一種ノ大和民族ガ我ガ國家ヲ形成スルト謂テ可ナリ、

右ノ種族ハ皇族、華族、士族、平民ノ四階級ニ分タレ、神道、佛教、基督教ノ三種ノ宗教ヲ信仰セリ、教育ノ事業モ近年大ニ進歩セリ、

四種族ヨリ成立テル我ガ帝國人口ノ總數ハ凡四千五百萬ニシテ、一方里平均千六百五十九人トス、即世界中ノ最稠密ナル人口ヲ有セル白耳義國ノ凡二分ノ一ニ當リ、英、伊兩國ト略相同ジ、故ニ我ガ邦ハ世界中ニ於テモ、稠密ナル人口ヲ有セル國ナリトス、若新領土臺灣島ヲ除カバ、一方里ニツキ千七百二十三人ヲ有セリ、今各大島ノ有セル人口數ヲ擧ゲテ、ソノ疎密ヲ知ラシメン、

(一)五大島

本州島	三二〇〇、七五二九	
九州島	六〇一、七七〇二	
四國島	二九二、九六三八	
臺灣島	一九九、六九八九	
十州島	四六、七八三一	
淡路島	一八、九四八五	
佐渡島	一一、三四三九	

(二)五中島　壹岐島　隱岐島　對馬島

(三)二列島　琉球列島　千島列島

(四)二群島　澎湖群島　小笠原群島

三、五八七〇
三、四七八九
三、二六二〇
四三、七八三二
一六七六
四、四八二〇
一二〇八

左ニ各道及縣國ニ於ケル人口ノ密度ヲ示サン、

(甲)畿內各道人口比較

順次	名稱	面積	人口	一方里ニ付人口
一	東海道	二六五八、八〇	九八四、〇二三一	三七〇一
二	西海道	二六一七、五四	六〇九、三七六九	二三二八
三	舊奧羽	四二四七、二三	四七〇、四六五九	一一〇八
四	東山道	二六〇二、六七	四四〇、六一三九	一六九三
五	山陽道	一五七〇、二七	四二四、二八八三	二七〇二
六	北陸道	一五七七、七九	三八八、八六五五	二四六五
七	南海道	一五六一、七八	三六九、三一九八	二三六三
八	畿內	四四五、五九	二六三、七三四六	五九一八
九	山陰道	一〇八七、六六	一八四、〇二七六	一六九二
一〇	北海道	六〇九五、三六	五〇、八八七〇	八三

(乙)道廳府縣人口ノ比較

順次	名稱	面積	戶數	人口	一方里ニ付人口	一戶ニ付人口
一	東京	一三五、八〇	四一、三四七三	一九四、八五八一	一、五四九〇	四、七一
二	新潟	八二四、五九	二八、八八七六	一七三、二六二九	二一〇一	六、〇〇
三	兵庫	五五六、六六	三二、九一一三	一六五、二三六六	二九六八	五、〇三
四	愛知	三二三、七八	三三、二三六八	一五九、二七三三	五〇九三	四、七九
五	大阪	一二五、七三	二八、七三四七	一五〇、三七七一	一、二九九五	五、三

| | | |

三六	德島	二七一、二八	一二、二七一八	六七、六六九四	二四九四	五、五一
三七	香川	一一三、五〇	一二、七五七七	六七、六六八一	五九六二	五、三〇
三八	和歌山	三一〇、六二	二二、〇四九七	六五、六〇二五	二一一二	五、四四
三九	福井	二七二、四〇	一一、五二一四	六一、二六〇〇	二二四九	五、三三
四〇	高知	四五四、七二	一二、二五四四	六〇、九〇〇五	一三三九	四、九七
四一	青森	六〇七、〇三	九、一四〇八	六〇、〇二九四	九八九	六、五七
四二	佐賀	一六〇、〇八	一〇、三二二五	五九、九六七九	三七四六	五、八一
四三	奈良	二〇一、四二	八、九五二四	五二、四五六二	二六〇四	五、八六
四四	山梨	二八九、八五	八、二六七六	四九、二六八九	一七〇〇	五、九六
四五	宮崎	四八七、三四	八、六五九〇	四五、五五三五	九三五	五、二六
四六	沖繩	一五六、九一	八、九九四三	四四、九一一二	二八六一	四、九六
四七	鳥取	二二四、一六	七、九三四五	四一、二九六五	一八四二	五、二〇
	臺中		二二、四二一六	一〇二、五六二八		
	臺北		一三、二五八五	七六、七九七三		
	臺南		一二、三一七二	六〇、一九六九		
	宜蘭		二、一四六四	一一、四〇九五		
	臺東		一、四〇〇〇	七、〇〇〇〇		
	澎湖	一四、三三	八九四五	四、九四五〇		

(丙)國別人口ノ比較

順次	國名	面積	人口	順次	國名	面積	人口
一	武藏	三九一、六三 方里	二八八、三〇九五	九	常陸	三三四、八八 方里	八八、三九四六
二	越後	七六七、二九	一六九、一八九〇	一〇	美濃	四〇二、八七	八六、四三九九
三	肥前	三一九、八〇	一三四、七四四〇	一一	安藝	二八六、七三	八四、一九七八
四	信濃	八五三、七六	一二二、六八四二	一二	下總	二〇六、五〇	八二、六三八七
五	肥後	四六五、四七	一一二、七〇〇〇	一三	羽後	七四二、七三	八二、〇三三一
六	攝津	九三、六三	一〇六、三〇〇〇	一四	越中	二六六、四一	七八、七一〇九
七	伊豫	三四一、一七	九八、三九七九	一五	播磨	二三八、五八	七七、二六九四
八	尾張	一〇四、一八	九五、四二三一	一六	下野	四一一、七七	七七、二六一五

| | | |

七七	隱岐		三、八九
七八	對馬		四、七三
七九	北見		
八〇	天鹽		
八一	日高		

(丁) 市制地ノ人口

順次	市名	所屬國名	人口	順次	市名	所屬國名	人口	順次	市名	所屬國名	人口
一	東京	武藏	一四二、五三六、六	七	廣島	安藝	一一、四二三、一	一三	德島	阿波	六、〇六六、八
二	大阪	攝津	八一、一八五、五	八	長崎	肥前	一〇、六五七、四	一四	富山	越中	五、九〇八、九
三	京都	山城	三五、一四六、一	九	金澤	加賀	八、一五二、〇	一五	岡山	備前	五、七一七、〇
四	名古屋	尾張	二三、九七七、一	一〇	仙臺	陸前	七、五二五、六	一六	熊本	肥後	五、五五六、九
五	神戶	攝津	二一、四一一、九	一一	福岡	筑前	六、三四二、二	一七	鹿兒島	薩摩	五、二九五、六
六	橫濱	武藏	一九、三七六、二	一二	和歌山	紀伊	六、三〇二、〇	一八	新潟	越後	五、二二九、四
八二	根室		一、三九一	一九	堺	和泉	四、九八八、一	二三	德島	阿波	六、〇六六、八
八三	釧路		一、三六一	二〇	福井	越前	四、三九二、九	一四	富山	越中	五、九〇八、九
八四	十勝		八六三	二一	赤間關	長門	四、一三四、九	一五	岡山	備前	五、七一七、〇
八五	千島	一〇三、四六	一九九五	二二	靜岡	駿河	三、九三九、四	一六	熊本	肥後	五、五五六、九
				二三	甲府	甲斐	三、六九八、二	一七	鹿兒島	薩摩	五、二九五、六
				二四	高知	土佐	三、五五三、八	一八	新潟	越後	五、二二九、四
				二五	松山	伊豫	三、四七二、八	一九	堺	和泉	四、九八八、一
				二六	高松	讚岐	三、四四一、六	二〇	福井	越前	四、三九二、九
				二七	松江	出雲	三、四一二、六	二一	赤間關	長門	四、一三四、九
				二八	弘前	陸奥	三、四〇四、一	二二	靜岡	駿河	三、九三九、四
				二九	盛岡	陸中	三、二九八、九	二三	甲府	甲斐	三、六九八、二
				三〇	前橋	上野	三、二九二、八	二四	高知	土佐	三、五五三、八
				三一	山形	羽前	三、二八四、六	二五	松山	伊豫	三、四七二、八
				三二	水戶	常陸	三、二六四、七	二六	高松	讚岐	三、四四一、六
				三三	大津	近江	三、二四四、六	二七	松江	出雲	三、四一二、六
				三四	津	伊勢	三、二四四、四				
				三五	佐賀	肥前	三、二二六、六				
				三六	姬路	播磨	三、一六九、九				
				三七	高岡	越中	三、一四九、〇				
				三八	宇都宮	下野	三、〇九五、一				
				三九	米澤	羽前	三、〇五八、二				
				四〇	長野	信濃	三、〇四一、二				
				四一	奈良	大和	二、九九八、六				
				四二	岐阜	美濃	二、九八五、七				

四三	高崎	上野	二、八九六三	四九	門司	豐前	二、五二七四
四四	若松	岩代	二、八九六一	五〇	小倉	同	二、五二五八
四五	久留米	筑後	二、八六二六	五一	四日市	伊勢	二、五二二〇
四六	鳥取	因幡	二、八四九六	五二	丸龜	讃岐	二、三一一一
四七	青森	陸奥	二、七九九一	五三	尾道	備後	二、二〇八三
四八	秋田	羽後	二、七〇九四				

(一)百萬以上　一
(二)百萬以下五十萬以上　一
(三)五十萬以下十萬以上　六
(四)十萬以下五萬以上　一
(五)五萬以下一萬以上　二一九

我ガ帝國ニハ、人口一萬以上ヲ有セル都會ハ、二百三十八箇所アリ、今コレヲ各道ニ分タバ、左ノ如シ、

(戊)人口一萬以上ノ都會

(一)畿內　一〇

山城　二　京都市・伏見町
大和　三　奈良市　郡山町　十津川村
和泉　一　堺市
攝津　四　大阪市　神戸市　西宮町　尼ヶ崎町

(二)東海道　四七

伊賀　一　上野町
伊勢　五　津市　宇治山田町　四日市市　桑名町　松阪町
尾張　四　名古屋市　熱田町　一宮町　津島町
參河　二　豐橋町　岡崎町
遠江　一　濱松町

駿河　五　靜岡市　沼津町　大宮町　長田村
　　島田町
甲斐　一　甲府市
相模　四　横須賀町　小田原町　浦賀町　豐島村
武藏　一四　東京市　横濱市　八王子町　川越町
　　品川町　神奈川町　戸太町　千住町
　　熊谷町　南千住町　大森村　王子村
　　本牧村　中村
下總　五　千葉町　本銚子町　船橋町　佐原町
　　結城町
常陸　五　水戸市・石岡町　湊町　土浦町
　　磯濱町

(三)東山道

近江　三　大津市　彦根町　長濱町
美濃　二　岐阜市　大垣町
飛騨　一　高山町
信濃　五　長野市　松本町　上田町　飯田町
　　上諏訪町
上野　三　前橋市　高崎市　桐生町
下野　六　宇都宮市　栃木町　足利町　足尾町
　　鹿沼町　田沼町
磐城　二　白河町　平町
岩代　四　若松市　福島町　須賀川町　郡山町
陸前　二　仙臺市　石卷町
陸中　一　盛岡市
陸奥　三　弘前市　青森市　八戸町

羽前　四　山形市　米澤市　鶴岡町　新庄町
羽後　六　秋田市　酒田町　能代湊町　土崎港町
　　横手町　阿仁合町

(四)北陸道　二〇

越前　四　福井市　敦賀町　武生町　三國町
加賀　二　金澤市　小松町
能登　二　七尾町　輪島町
越中　六　富山市　高岡市　新湊町　魚津町
　　氷見町
越後　五　新潟市　滑川町
　　沼垂町
佐渡　一　相川町　高田町　新發田町　直江津町

(五)山陰道　一四

因幡　一　鳥取市
伯耆　一　米子町
出雲　一　松江市
石見　一　濱田町

(六)山陽道　一九

播磨　二　姫路市　明石町
美作　一　津山町
備前　一　岡山市
備後　二　尾道市　福山町
安藝　七　廣嶋市　和庄村　仁保島村　倉橋島村
　　廣村　江田島村　瀨戸島村
周防　四　山口町　德山村　三田尻村
　　家室西方村

長門　二　赤間關市　萩町

(七)南海道　一五

紀伊　三　和歌山市　新宮町　湯淺村
阿波　三　德島市　撫養町　小松島村
讃岐　四　高松市　丸龜市　觀音寺町　坂出町
伊豫　四　松山市　今治町　宇和島町　別子山村
土佐　一　高知市

(八)西海道　六八

筑前　二　福岡市　若松町
筑後　三　久留米市　大牟田町　大川町
豊前　三　門司市　小倉市　中津町
豊後　一　大分町
肥前　六　長崎市　佐賀市　佐世保村　唐津町

肥後　三　熊本市　水俣村　八代町
日向　二　都城町　小林村
大隅　六　垂水村　加治木村　末吉村
北種子村　東志布志村　鹿屋村
薩摩　二三　鹿兒島市　谷山村　頴娃村　東南方
村　串木野村　指宿村　阿久根村
知覽村　伊作村　川邊村　伊敷村
加世田村　西加世田村　東市來村
東加世田村　西南方村　吉野村　上
出水村　喜入村　中出水村　宮之城
村　高城村　西櫻島村
琉球　一九　那覇區　首里區　小祿間切　兼城間

西有家村　富江村

切　大里間切　浦添間切　西原間切
宜野灣間切　中城間切　北谷間切
讀谷山間切　美里間切　具志川間切
名護間切　羽地間切　今歸仁間切
本部間切　平良間切　砂川間切

(九)北海道　六

渡島　三　函館區　江差町　福山町
後志　一　小樽町
石狩　一　札幌區
根室　一　根室町

(一〇)臺灣　八

臺北　三　大稻埕　艋舺　新竹街
臺中　二　鹿港街　彰化街
臺南　二
宜蘭　一　宜蘭
嘉義市街

行政

我ガ帝國ノ政體ハ、モト君主專制ナリシガ、明治二十二年二月十一日ヲ以テ、立憲君主政體トナレリ、萬世一系ノ　天皇コレヲ統御セラレ、立法、司法、行政ノ三大權ヲ掌握シ給フ、帝國議會、立法部ヲ司リ、大審院、控訴院、地方裁判所等、司法部ヲ掌リ、內閣、九省ノ中央政廳及總督府、道廳、府縣郡市ノ諸地方廳、行政部ヲ組織セリ、

大寶ノ制ニ據レバ、我ガ邦ハ一畿七道五十八國三島ト定マリ、國ヲ大上中下ノ四級トシ、郡ヲ大上中下小ノ五級トセリ、蝦夷全ク平ギシ後、一畿七道六十六國二島トナリテ、明治ノ初年ニ及ベリ、今ソノ國名郡數ヲ擧ゲ、且當時國府ノアリシ地ヲ示シテ、現今ト比較セン、

(甲)畿道國郡ノ比較

現時

畿道	國名	中古乃至明治初年 級	郡數	國府地名	市制地數	市制地名	郡數	郡名
畿内	山城	上	八	乙訓郡	一	京都	八	葛野郡、愛宕郡、乙訓郡、紀伊郡、宇治郡、久世郡、綴喜郡、相楽郡
	大和	上	一五	高市郡	一	奈良	一〇	添上郡、山辺郡、宇陀郡、磯城郡、高市郡、吉野郡、北葛城郡、南葛城郡
	河内	大	一四	志紀郡			三	北河内郡、中河内郡、南河内郡
	和泉	下	三	府中村	一	堺	二	泉北郡、泉南郡
	摂津	土	一三	東成郡	二	大阪、神戸	七	東成郡、西成郡、三島郡、豊能郡、河辺郡、武庫郡、有馬郡
東海	伊賀	下	四	阿拝郡			二	阿山郡、名賀郡
	伊勢	大	一三	鈴鹿郡	一	津、四日市	一〇	桑名郡、員弁郡、三重郡、鈴鹿郡、河曲郡、安濃郡、一志郡、飯南郡、多気郡
	志摩	下	二	英虞郡			一	志摩郡
	尾張	上	八	中島郡	一	名古屋	八	愛知郡、東春日井郡、西春日井郡、丹羽郡、葉栗郡、中島郡、海西郡
東山	近江	大	一二	栗太郡	一	大津	一三	滋賀郡、栗太郡、野洲郡、神崎郡、愛知郡、犬上郡、坂田郡、東浅井郡、西浅井郡、伊香郡、高島郡、甲賀郡、蒲生郡
	美濃	上	一八	厚見郡	一	岐阜	一八	厚見郡、各務郡、山県郡、武儀郡、加茂郡、東加茂郡、可児郡、土岐郡、恵那郡、大野郡、本巣郡、席田郡、不破郡、安八郡、揖斐郡、池田郡、方県郡、羽栗郡、石津郡、海西郡
	飛騨	下	三	大野郡			三	大野郡、吉城郡、益田郡
	信濃	上	一〇	埴科郡	一	長野	一〇	埴科郡、更級郡、水内郡、高井郡、下水内郡、上高井郡、下高井郡、上水内郡、北佐久郡、南佐久郡
	上野	上	一四	群馬郡	一	前橋	一四	群馬郡、勢多郡、佐位郡、新田郡、山田郡、那波郡、邑楽郡、碓氷郡、吾妻郡、利根郡、甘楽郡、多胡郡、緑野郡、北甘楽郡
	下野	上	一二	河内郡	一	宇都宮	一二	河内郡、芳賀郡、塩谷郡、那須郡、上都賀郡、下都賀郡、寒川郡、都賀郡、安蘇郡、足利郡、梁田郡、佐野郡
	陸奥	上	三〇	多賀郡	一	仙台	三〇	宇多郡、行方郡、標葉郡、楢葉郡、磐城郡、菊多郡、石城郡、岩崎郡、白河郡、石川郡、楽浪郡、会津郡、耶麻郡、河沼郡、大沼郡、蘆名郡、安積郡、安達郡、岩瀬郡、信夫郡、伊達郡、刈田郡、柴田郡、宮城郡、黒川郡、桃生郡、牡鹿郡、本吉郡、磐井郡、気仙郡、江刺郡、和賀郡、稗貫郡、紫波郡、岩手郡、志和郡
	出羽	上	一二	最上郡	一	山形	一二	最上郡、村山郡、東村山郡、北村山郡、西村山郡、南村山郡、東置賜郡、西置賜郡、北置賜郡、南置賜郡、飽海郡、田川郡
	陸中	上	一〇	閉伊郡	一	盛岡	一〇	閉伊郡、気仙郡、江刺郡、和賀郡、稗貫郡、紫波郡、岩手郡、志和郡、二戸郡、九戸郡
	陸前	上	一〇	桃生郡	一	石巻	一〇	桃生郡、牡鹿郡、本吉郡、磐井郡、気仙郡、江刺郡、和賀郡、稗貫郡、紫波郡、岩手郡
	陸後	上	一一	津軽郡	一	弘前	一一	津軽郡、鼻和郡、平賀郡、田川郡、山本郡、秋田郡、河辺郡、由利郡、仙北郡、雄勝郡、平鹿郡
北陸	若狭	下	三	遠敷郡			三	遠敷郡、大飯郡、三方郡
	越前	大	八	丹生郡	一	福井	八	丹生郡、今立郡、南条郡、大野郡、坂井郡、吉田郡、足羽郡、敦賀郡
	加賀	大	四	石川郡	一	金沢	四	石川郡、河北郡、能美郡、江沼郡
	能登	下	四	鳳至郡			四	鳳至郡、珠洲郡、鹿島郡、羽咋郡
	越中	大	四	婦負郡	一	富山	四	婦負郡、射水郡、砺波郡、新川郡
	越後	上	一八	蒲原郡	一	新潟	一八	蒲原郡、沼垂郡、古志郡、三島郡、刈羽郡、魚沼郡、頸城郡、中魚沼郡、南魚沼郡、北魚沼郡、東頸城郡、西頸城郡、中頸城郡、岩船郡、北蒲原郡、南蒲原郡、西蒲原郡
	佐渡	下	三	雑太郡			三	雑太郡、羽茂郡、加茂郡
山陰	丹波	大	八	桑田郡			八	桑田郡、船井郡、何鹿郡、天田郡、氷上郡、多紀郡、氷上郡、何鹿郡
	丹後	下	五	与謝郡			五	与謝郡、竹野郡、中郡、加佐郡、熊野郡
	但馬	大	八	気多郡			八	気多郡、城崎郡、美含郡、七美郡、朝来郡、養父郡、出石郡、美方郡
	因幡	大	八	法美郡			八	法美郡、邑美郡、巨濃郡、八上郡、高草郡、智頭郡、気多郡、岩井郡
	伯耆	大	六	久米郡			六	久米郡、河村郡、汗入郡、会見郡、東伯郡、西伯郡
	出雲	大	一〇	意宇郡			一〇	意宇郡、島根郡、秋鹿郡、楯縫郡、出雲郡、神門郡、飯石郡、仁多郡、大原郡、能義郡
	石見	上	一四	那賀郡			一四	那賀郡、邇摩郡、安濃郡、美濃郡、鹿足郡、邑智郡、迩摩郡、美乃郡、那賀郡、邇摩郡、安濃郡、美濃郡、鹿足郡、邑智郡
	隠岐	下	二	周吉郡			二	周吉郡、穏地郡
山陽	播磨	大	一二	飾磨郡			一二	飾磨郡、神東郡、賀茂郡、揖保郡、宍粟郡、佐用郡、赤穂郡、神西郡、多可郡、加東郡、美嚢郡、加古郡
	美作	上	一〇	勝田郡			一〇	勝田郡、英多郡、苫田郡、久米郡、真島郡、大庭郡、上道郡、川辺郡、都宇郡、邑久郡
	備前	上	一〇	上道郡			一〇	上道郡、津高郡、赤坂郡、御野郡、児島郡、小島郡、藤野郡、磐梨郡、和気郡、邑久郡
	備中	上	一〇	都宇郡			一〇	都宇郡、賀陽郡、窪屋郡、浅口郡、小田郡、後月郡、哲多郡、阿哲郡、川上郡、上房郡
	備後	上	一四	深津郡			一四	深津郡、安那郡、品治郡、神石郡、奴可郡、三上郡、恵蘇郡、甲奴郡、世羅郡、三谿郡、沼隈郡、深安郡、芦品郡、御調郡
	安芸	上	一〇	安芸郡			一〇	安芸郡、賀茂郡、豊田郡、高宮郡、山県郡、佐伯郡、高田郡、沼田郡、山県郡、佐伯郡
	周防	中	四	佐波郡			四	佐波郡、吉敷郡、熊毛郡、玖珂郡
	長門	上	一三	豊浦郡			一三	豊浦郡、厚狭郡、豊北郡、美祢郡、大津郡、阿武郡、豊浦郡、厚狭郡、豊北郡、美祢郡、大津郡、阿武郡
南海	紀伊	大	七	那賀郡			七	那賀郡、伊都郡、名草郡、海部郡、日高郡、有田郡、牟婁郡
	淡路	下	二	三原郡			二	三原郡、津名郡
	阿波	上	一四	名東郡			一四	名東郡、名西郡、麻植郡、美馬郡、三好郡、板野郡、阿波郡、勝浦郡、那賀郡、海部郡、麻植郡、美馬郡、三好郡、板野郡
	讃岐	上	一一	阿野郡			一一	阿野郡、鵜足郡、那珂郡、多度郡、三野郡、山田郡、香川郡、寒川郡、大内郡、山田郡、香川郡
	伊予	上	一四	温泉郡			一四	温泉郡、伊予郡、浮穴郡、久米郡、喜多郡、風早郡、和気郡、浮穴郡、久米郡、喜多郡、風早郡、和気郡
	土佐	上	一六	土佐郡			一六	土佐郡、吾川郡、高岡郡、幡多郡、香美郡、長岡郡、土佐郡、吾川郡、高岡郡、幡多郡、香美郡、長岡郡
西海	筑前	上	一五	那珂郡			一五	那珂郡、早良郡、志摩郡、糟屋郡、宗像郡、遠賀郡、鞍手郡、嘉麻郡、穂波郡、鞍手郡、嘉麻郡、穂波郡
	筑後	上	一〇	御井郡			一〇	御井郡、竹野郡、上妻郡、下妻郡、三潴郡、山門郡、三池郡、生葉郡、竹野郡、上妻郡、下妻郡
	豊前	上	一〇	京都郡			一〇	京都郡、仲津郡、築城郡、上毛郡、下毛郡、宇佐郡、下毛郡、宇佐郡、京都郡、仲津郡
	豊後	上	一二	大分郡			一二	大分郡、速見郡、国東郡、海部郡、直入郡、大野郡、玖珠郡、日田郡、大分郡、速見郡、国東郡、海部郡
	肥前	上	一二	佐嘉郡			一二	佐嘉郡、小城郡、神埼郡、三根郡、基肄郡、養父郡、松浦郡、彼杵郡、高来郡、佐嘉郡、小城郡、神埼郡
	肥後	上	一四	飽田郡			一四	飽田郡、託麻郡、山本郡、合志郡、玉名郡、山鹿郡、菊池郡、阿蘇郡、飽田郡、託麻郡、山本郡、合志郡
	日向	上	一〇	児湯郡			一〇	児湯郡、那珂郡、宮崎郡、諸県郡、北諸県郡、西諸県郡、東諸県郡、児湯郡、那珂郡、宮崎郡
	大隅	上	一四	桑原郡			一四	桑原郡、姶良郡、囎唹郡、贈於郡、肝属郡、大隅郡、桑原郡、姶良郡、囎唹郡、贈於郡
	薩摩	上	一三	鹿児島郡			一三	鹿児島郡、日置郡、伊佐郡、出水郡、薩摩郡、川辺郡、鹿児島郡、日置郡、伊佐郡、出水郡
	壱岐	下	一	石田郡			一	石田郡
	対馬	下	一	下県郡			一	下県郡

東海道																
参河	遠江	駿河	甲斐	伊豆	相模	武蔵	安房	上総	下総	常陸						
上	上	上	上	下	上	大	中	大	大	大						
八	一三	七	四	三	八	二一	四	一一	一一	一一	一二八					
宝飯郡	見附駅	阿倍郡	山梨郡	君沢郡	大住郡	多摩郡	平群郡	能淑郡	葛飾郡	新治郡	栗太郡	野洲郡	神崎郡	愛知郡	犬上郡	坂田郡
国府	田駅	府岡	国衙	島駅	佳郡	府中	府中	原村	国府塞村	石岡	瀬田橋本村					
											八	一	一	一	一	一
												大津	水戸			
												一三	一一	九	五	一
額田郡	磐田郡	静岡	甲府	加茂郡	中足柄上郡	東京	安房郡	市原郡	千葉郡	海上郡	君津郡	千葉郡	東茨城郡	知多郡	東春日井郡	滋賀郡
幡豆郡	見附			賀茂郡	津久井郡	横浜		夷隅郡	葛飾郡	印旛郡	市原郡	猿島郡	西茨城郡	丹羽郡	西春日井郡	栗太郡
寶飯郡	田駅			南豆摩郡	愛甲郡			長生郡	結城郡	香取郡	武郡	結城郡	那珂郡	葉栗郡	中島郡	野洲郡
国府				北都留郡	南足柄上郡			山武郡	匝瑳郡	匝瑳郡		匝瑳郡	久慈郡	海西郡	海西郡	神崎郡
																愛知郡
																犬上郡
																坂田郡
																東浅井郡
																西浅井郡
																伊香郡
																高島郡
																甲賀郡
																蒲生郡
額田郡	磐田郡	静岡	甲府	加茂郡	中足柄上郡	東京	安房郡	市原郡	千葉郡	海上郡	君津郡	千葉郡	東茨城郡	知多郡	東春日井郡	滋賀郡
幡豆郡	見附			賀茂郡	津久井郡	横浜		夷隅郡	葛飾郡	印旛郡	市原郡	猿島郡	西茨城郡	丹羽郡	西春日井郡	栗太郡
寶飯郡	田駅			南豆摩郡	愛甲郡			長生郡	結城郡	香取郡	武郡	結城郡	那珂郡	葉栗郡	中島郡	野洲郡
国府				北都留郡	南足柄上郡			山武郡	匝瑳郡	匝瑳郡		匝瑳郡	久慈郡	海西郡	海西郡	神崎郡
																愛知郡
																犬上郡
																坂田郡
																東浅井郡
																西浅井郡
																伊香郡
																高島郡
																甲賀郡
																蒲生郡

山道（奥羽）

國	上	下	郡	村
美濃	上	一八	不破郡	府中村
飛驒	下	三	大野郡	高山
信濃	上	一〇	筑摩郡	松本
上野	大	一四	群馬郡	西東國府村
下野	上	九	都賀郡	國府村
磐城	大	三五	宮城郡	岩切村
岩代				
陸前				
陸中				
陸奥				
羽前	上	一一	田川郡	廣野新田付
羽後				
八（一三）		一一二		

國	上	下	郡	村
岐阜	一	一五	稻葉	羽島 海津 養老 不破 安八 揖斐 本巢 山縣 武儀 郡上 加茂 可兒 土岐 惠那
長野	一	一六	大野	益田 吉城
前橋	二	一一	南佐久、北佐久、小縣、諏訪、上伊那、下伊那、西筑摩、東筑摩、南安曇、北安曇、更級、埴科、上高井、下高井、上水內、下水內、	
宇都宮	一	八	群馬	多野 北甘樂 碓氷 吾妻 利根 勢多 佐波 新田 山田 邑樂 河內 上都賀 下都賀 芳賀 鹽谷 那須 安蘇 足利
若松	一	一〇	東白川	西白河 石川 田村 石城 雙葉 相馬 伊具 刈田 亘理
仙臺	一	一四	信夫	伊達 安達 安積 岩瀨 南會津 北會津 耶麻 河沼 大沼
盛岡	一	一二	柴田	黑川 名取 宮城 加美 玉造 栗原 志田 遠田 桃生 牡鹿 登米 本吉 氣仙 岩手 柴波 稗貫 和賀 膽澤 江刺 西磐井 東盤井 上閉伊 下閉伊 九戶 鹿角 東津輕 西津輕 中津輕 南津輕 北津輕 上北 下北 三戶 二戶
青森	二	九	南村山	北村山 東村山 西村山 最上 西田川 東田川 西置賜 東置賜 南置賜
米澤	二	一〇	鮑海	由利 雄勝 平鹿 仙北 河邊 南秋田 北秋田 山本
秋田	一	九		
	一四	一四〇		

北陸道

國	上	下	郡	村
若狹	中	三	遠敷郡	府中村
越前	大	六	南條郡	武生
加賀	上	四	能美郡	國府村
能登	中	四	鹿島郡	府中村
越中	上	四	射水郡	新湊町
越後	上	七	頸城郡	春日山
佐渡	中	三	雜太郡	竹田村
七		三一		

國	上	下	郡	村
福井	一	三	三方	遠敷 大飯
金澤	一	八	足羽	吉田 坂井 大野 南條 今立 丹生 敦賀
富山	二	四	江沼	能美 石川 河北
高岡	二	四	羽咋	鹿島 鳳至 珠洲
新潟	一	八	上新川	中新川 下新川 婦負 射水 氷見 東蠣波 西蠣波
	五	一五	北蒲原、中蒲原、西蒲原、南蒲原、東蒲原、三島、古志、北魚沼、中魚沼、南魚沼、刈羽、東頸城、中頸城、西頸城、岩船、佐渡	
		四三		

山陰

國	上	下	郡	村
丹波	上	六	船井郡	屋賀村
丹後	中	五	與謝郡	府中驛
但馬	上	八	氣多郡	府市場村
因幡	上	七	法美郡	宮下村
伯耆	上	六	久米郡	國府村

國	上	下	郡	村
		七	南桑田	北桑田 船井 何鹿 多紀 氷上 天田
		五	加佐	與佐 中 竹野 熊野
		五	城崎	出石 養父 朝來 美方
		三	岩美	八頭 氣高
		三	東伯	西伯 日野

道																								
出雲	上	一〇	意宇郡	下出雲鄉村	松江	六	八束川	能義郡	飯石	仁多郡	大原	旗	八	播磨	大	一二	飾東郡	國府寺村	姬路	一三	明石	美嚢	加東	多可
石見	中	六	那賀郡	下府村	濱田	六	邇摩郡	安濃	邑智	那賀	美濃	鹿足		美作	上	八	上道郡	上房村	岡山	六	御津	赤磐	上道	邑久	兒島	加	南	印	飾磨	神崎	揖保	古	赤穗	佐用	宍粟
隱岐	下	四	周吉郡	八尾村	松江	一								備前	上	七	總社村	西北條郡	岡山	一	赤間關	五	厚狹郡	豐浦	美禰	大津	阿	武								
隱岐	上	五二	周吉郡	八尾村										備中	上	九	賀陽郡	八田部村	淺口	一	都窪	吉備	淺口	小田	後月	川上	上房	阿哲								
安藝	上	八	安藝郡	府中村	高田	一	蘆品郡	府中村	尾道	一	深安郡	神石	沼隈	蘆品	御調	世羅	甲奴	雙三	比婆	九	大鳥郡	吉敷	佐波	玖珂	熊毛	都濃	佐								
周防	上	六	國衙村	東佐波郡	防府	一	安藝郡	府中村	廣島	一	安藝	佐伯	安佐	山縣	高田	加茂	豐田	豐	浦	郡	厚狹	豐浦	美禰	大津	阿	武									
長門	中	五	豐浦	郡																															

道																								
紀伊	上	七	名草郡	中村	淡路	下	三原郡	衙村	阿波	上	九	名東郡	勝浦郡	板野	阿波	麻植郡	美馬	土佐	中	一	土佐郡	高知	伊豫	上	一四	越智郡	上浮穴郡	伊豫	宇和郡	東宇和郡	北宇和郡	南宇和郡	喜多郡	西宇和郡	伊達	宇和島	北宇和郡
伊都	有田郡																																			
高西牟婁	東牟婁	南牟婁	北牟婁																																	

道																								
筑前	上	一五	御笠郡	大宰府	筑後	上	一〇	御井郡	府中	豐前	上	八	草野	中津郡	豐後	上	八	大分郡	古國府	肥前	上	一一	佐賀郡	久保	肥後	大	一四	飽田郡	古府
土佐	中	七	長岡郡	國府村	伊豫	上	一四	越智郡	古國分	豫	上	一二	周桑郡	新居	宇摩	喜多郡	西宇和	南宇和郡	北宇和	土佐	上	一一	幡多郡	高岡	阿波	上	九	名東郡	勝浦	那賀郡	海部	名西郡	板野	阿波	麻植	美馬
佐伯	上	一二	海部郡	宍喰村	紀伊	上	一五	名草郡	和歌山	淡路	下	二	三原郡	衙村	阿波	上	九	名東郡	勝浦	那賀郡	海部	名西郡	板野	阿波	麻植	美馬	伊豫	上	一四	越智郡	古國分	豫	上	一二	周桑郡	新居	宇摩	喜多郡	西宇和	南宇和郡	北宇和	伊達	宇和島	北宇和郡
伊都	有田郡																																			
高西牟婁	東牟婁	南牟婁	北牟婁																																	

道																								
筑後	上	一五	御笠郡	大宰府	筑前	上	一〇	御井郡	府中	豐前	上	八	草野	中津郡	豐後	上	八	大分郡	古國府	肥前	上	一一	佐賀郡	久保	肥後	大	一四	飽田郡	古府
土佐	中	七	長岡郡	國府村	伊豫	上	一四	越智郡	古國分	豫	上	一二	周桑郡	新居	宇摩	喜多郡	西宇和	南宇和郡	北宇和	土佐	上	一一	幡多郡	高岡	阿波	上	九	名東郡	勝浦	那賀郡	海部	名西郡	板野	阿波	麻植	美馬
佐伯	上	一二	海部郡	宍喰村	紀伊	上	一五	名草郡	和歌山	淡路	下	二	三原郡	衙村	阿波	上	九	名東郡	勝浦	那賀郡	海部	名西郡	板野	阿波	麻植	美馬	伊豫	上	一四	越智郡	古國分	豫	上	一二	周桑郡	新居	宇摩	喜多郡	西宇和	南宇和郡	北宇和	伊達	宇和島	北宇和郡
伊都	有田郡																																			
高西牟婁	東牟婁	南牟婁	北牟婁																																	

道																								
筑前	上	一五	御笠郡	大宰府	筑後	上	一〇	御井郡	府中	豐前	上	八	草野	中津郡	豐後	上	八	大分郡	古國府	肥前	上	一一	佐賀郡	久保	肥後	大	一四	飽田郡	古府
土佐	中	七	長岡郡	國府村	伊豫	上	一四	越智郡	古國分	豫	上	一二	周桑郡	新居	宇摩	喜多郡	西宇和	南宇和郡	北宇和	土佐	上	一一	幡多郡	高岡	阿波	上	九	名東郡	勝浦	那賀郡	海部	名西郡	板野	阿波	麻植	美馬
佐伯	上	一二	海部郡	宍喰村	紀伊	上	一五	名草郡	和歌山	淡路	下	二	三原郡	衙村	阿波	上	九	名東郡	勝浦	那賀郡	海部	名西郡	板野	阿波	麻植	美馬	伊豫	上	一四	越智郡	古國分	豫	上	一二	周桑郡	新居	宇摩	喜多郡	西宇和	南宇和郡	北宇和	伊達	宇和島	北宇和郡
伊都	有田郡																																			
高西牟婁	東牟婁	南牟婁	北牟婁																																	

道																								
筑前	上	一五	御笠郡	大宰府	筑後	上	一〇	御井郡	府中	豐前	上	八	草野	中津郡	豐後	上	八	大分郡	古國府	肥前	上	一一	佐賀郡	久保	肥後	大	一四	飽田郡	古府
土佐	中	七	長岡郡	國府村	伊豫	上	一四	越智郡	古國分	豫	上	一二	周桑郡	新居	宇摩	喜多郡	西宇和	南宇和郡	北宇和	土佐	上	一一	幡多郡	高岡	阿波	上	九	名東郡	勝浦	那賀郡	海部	名西郡	板野	阿波	麻植	美馬
佐伯	上	一二	海部郡	宍喰村	紀伊	上	一五	名草郡	和歌山	淡路	下	二	三原郡	衙村	阿波	上	九	名東郡	勝浦	那賀郡	海部	名西郡	板野	阿波	麻植	美馬	伊豫	上	一四	越智郡	古國分	豫	上	一二	周桑郡	新居	宇摩	喜多郡	西宇和	南宇和郡	北宇和	伊達	宇和島	北宇和郡
伊都	有田郡																																			
高西牟婁	東牟婁	南牟婁	北牟婁																																	

道	地方廳名	市數	郡數	管轄郡市名
海道	日向	中	五	那珂郡 佐土原
	大隅	中	八	囎唹郡 府中村
	薩摩	中	一二	高城郡 麓村
	壹岐	下	二	壹岐郡 國分村
	對馬	下	二	下縣郡 嚴原國分村
	琉球		九五	
	九國(二)島(二)		八	一 鹿兒島
			八五	八 宮崎 南那珂郡 北諸縣 西諸縣 東諸縣 兒湯 東白杵 西白杵 五 姶良 囎唹 肝屬 大島 熊毛 七 鹿兒島 揖宿 川邊 日置 薩摩 出水 伊佐 一 壹岐 二 下縣 上縣 五 島尻 中頭 國頭 宮古 八重山
北海道	渡島			六 亀田 上磯 茅部 松前 檜山 爾志
	後志			一七 久遠、奥尻、太櫓、瀬棚、寿都、島牧、歌棄、磯谷、小樽、高島、忍路、余市、古平、美國、積丹、古宇、岩内、寿蘭、虻田、有珠、幌山越、室蘭、勇拂、千歳
	膽振			八 白老
	日高			七 沙流 新冠 靜内 浦河 様似 幌泉 三石
	十勝			七 廣尾 當縁 中川 十勝 河西 河東 上川
	石狩			九 札幌 空知 夕張 樺戸 雨龍 上川 石狩 厚田 濱益

(乙)道廳府縣ノ比較

道	地方廳名	市數	郡數	管轄郡市名
東京	東京	一	八	武藏ノ内 東京市 西多摩 南多摩 北多摩 南足立 北豐島 南葛飾 伊豆ノ内 大島 利島 新島 神津島 三宅島 御倉島 八丈島 小笠原島
				山城全國
海道	天鹽			六 増毛 留萌 苫前 天鹽 中川 上川
	北見			八 宗谷 枝幸 利尻 禮文 網走 常呂 斜里 紋別
	釧路			六 厚岸 釧路 白糠 上川 阿寒 足寄
	根室			五 根室 花咲 野付 標津 目梨
	千島			九 國後 擇捉 振別 紗那 薬取 得撫 新知 占守 色丹
	一一			八八
合計	六六(八五)		五九〇	五三 六三九

京都	一	一八	丹波ノ内 南桑田 天田 何鹿 北桑田 船井 丹後全國
大阪	二	一一	攝津ノ内 大阪市 西成 東成 三島 豐能 河内全國 和泉全國
神奈川	一	一一	武藏ノ内 横濱市 橘樹 久良岐 都筑 相摸全國
兵庫	二	二五	攝津ノ内 神戸市 武庫 川邊 有馬 播磨全國 但馬全國 丹波ノ内 多紀 氷上 淡路全國
長崎	一	九	肥前ノ内 長崎市 東彼杵 南高來 南松補 西彼杵 北高來 北松浦 壹岐全國 對馬全國
新潟	一	一六	越後全國 佐渡全國
埼玉		九	武藏ノ内 北足立 入間 南埼玉 秩父 兒玉 大里 北埼玉 比企 北葛飾
千葉		一二	安房全國 上總全國 下總ノ内 千葉 東葛飾 印旛 香取 匝瑳 海上
茨城	一	一四	常陸全國 下總ノ内 結城 猿島 北相馬
群馬	二	一一	上野全國
栃木	一	八	下野全國
奈良	一	一〇	大和全國
三重	二	一五	伊賀全國 伊勢全國 志摩全國 紀伊ノ内 北牟呂 南牟呂

愛知	一	一九	尾張全國				
			參河全國				
靜岡	一	一三	伊豆全國				
			駿河全國				
			遠江全國				
山梨	一	一〇	甲斐全國				
滋賀	一	一二	近江全國				
岐阜	一	一八	美濃全國				
			飛驒全國				
長野	一	一六	信濃全國				
宮城	一	一六	陸前ノ內	仙臺市	柴田	名取	宮城
				志田	登米	桃生	牡鹿
			加美	玉造	遠田	栗原	
			刈田	伊具	本吉	黑川	
			磐城ノ內	亘理			
福島	一	一七	磐城ノ內	東白川	石城	石川	田村
			西白河	雙葉	相馬		
			岩代全國				

岩手	一	一三	陸中全國				
			陸奥ノ內	二戶			
			陸前ノ內	氣仙			
青森	二	九	陸奥ノ內	青森市	北津輕	西津輕	南津輕
			弘前市	東津輕	中津輕	上北	下北
							三戶
山形	二	一二	羽前全國				
			羽後ノ內	飽海			
秋田	一	九	羽後ノ內	秋田市	南秋田	北秋田	山本
			由利	仙北	平鹿	雄勝	河邊
			陸中ノ內	鹿角			
福井	一	一一	若狹全國				
			越前全國				
石川	一	八	加賀全國				
			能登全國				
富山	二	八	越中全國				
鳥取	一	六	因幡全國				
			伯耆全國				

島根	岡山	廣島	山口	和歌山	德島	香川	愛媛
一	一	二	一	一	一	二	一
一六	一九	一六	一一	七	一〇	七	一二
出雲全國	備前全國	安藝全國	周防全國	紀伊ノ內有田	阿波全國	讃岐全國	伊豫全國
石見全國	備中全國	備後全國	長門全國	和歌山市 海草 日高 西牟婁			
隱岐全國				那賀 東牟婁 伊都			
美作全國							

高知	福岡	大分	佐賀	熊本	宮崎	鹿兒島	沖繩	北海道	支札幌
一	四		一	一		一			一區
七	一九	二	八	一二	八	一二	五	八八	五
土佐全國	筑前全國	豐前ノ內下毛 宇佐	佐賀市 西松浦 東松浦 佐賀	神崎 三養基 杵島 藤津	日向全國	大隅全國	琉球全國	北海道一圓	札幌區 札幌 千歲 石狩 厚田 濱益
	筑後全國	豐後全國	肥前ノ內	小城		薩摩全國			
	豐前ノ內企救 田川								
	門司市 小倉市 京都 築上								

函館	龜田	松前	檜山	壽都	岩內	小樽	空知	上川	增毛	宗谷	網走	室蘭	浦河	釧路
一區														
四	四	一	六	四	二	七	四	一	六	四	四	六	七	六
函館	龜田	松前	檜山	壽都	岩內	小樽	空知	上川（石狩）	增毛	宗谷	網走	室蘭	浦河	釧路
上磯	茅部	山越	爾志	久遠	奥尻	太櫓	瀨棚							
島牧	歌棄	磯谷												
古宇														
高島	忍路	余市	古平	美國	積丹									
夕張	雨龍	樺戶												
上川（天鹽）														
留萌	苫前	天鹽	中川	上川（天鹽）										
枝幸	利尻	禮文												
斜里	常呂	紋別												
有珠	虻田	幌別	勇拂	白老										
沙流	新冠	靜內	三石	様似	幌泉									
足寄	阿寒	川上	厚岸											

廳	臺灣總督府					
西	北	臺	臺	臺	宜蘭廳	臺東廳
河	臺北縣直轄及同縣基隆、淡水、新竹支廳管下一圓					
根室	臺中縣直轄及苗栗、彰化、埔里社、雲林支廳管下一圓					
一〇	臺南縣直轄及嘉義、鳳山、恒春支廳管下一圓					
新	臺北縣宜蘭支廳管下一圓					
知	臺南縣臺東支廳管下一圓					
占守	澎湖廳管下一圓					
七						
四						
河西	河東	上川（十勝）	中川	十勝	當縣	廣尾
紗那	花咲	野付	標津	目梨	國後	色丹	得撫
紗那	振別	擇捉	蘂取			

ソノ他全國ニ七控訴院、十二師團、五海軍區等ノ別アリ、又我ガ帝國ト修交條約ヲ締結セル國二十一箇アリ、彼我互ニ公使、領事、貿易事務官等ヲ駐在セシメテ、通商貿易ヲ視察セシム、

(甲)條約國

	國名	舊條約 假條約	本條約	新條約
一	北米合衆國	安政元年三月三日（ペルリ條約）	萬延元年四月三日	明治二十七年十一月二十二日
二	英吉利	同八月二十三日（スチルリング條約）	安政六年六月十二日	同七月十六日
三	露西亞	同十二月二十一日（下田條約）	同七月二十一日	同二十八年六月八日
四	佛蘭西	同五年九月三日	同八月二十六日	同二十九年八月四日
五	和蘭	同二年十二月二十三日（長崎條約）	萬延元年二月九日	同九月八日
六	葡萄牙	萬延元年六月十七日	文久二年三月十日	同三十年一月廿六日
七	瑞西	文久三年十二月十六日	同十二月十六日	同二十九年十一月十日
八	白耳義	慶應二年七月十六日	慶應元年五月十四日	同二十九年十二月一日
九	伊太利	同	同三年八月十二日	同二十七年十二月十日
一〇	丁抹	同十二月二日	同九月六日	同二十八年十月十九日
一一	西班牙	明治元年九月廿七日	明治三年三月八日	同卅年一月二日
一二	瑞典那威	同	同十一月八日	同廿九年五月二日
一三	獨逸（北部聯邦）	明治二年九月十四日	同二年一月十日	同四月四日
一四	墺地利匈牙利	明治二年九月十四日	同四年十一月三日	同三十年十二月五日
	布哇		同七月四日	同二十九年七月二十一日
一五	清國		同七月二十九日	同二十九年七月二十一日
一六	秘露	慶應二年六月廿一日	同六年八月二十一日	同二十八年三月二十日
一七	韓國	明治九年二月廿六日	同九年八月二十四日	同三十一年二月五日
一八	暹羅	同二十年九月廿六日	明治二十一年二月十日	同二十八年十一月五日
一九	墨西哥			同
二〇	伯剌西爾			
二一	希臘			

(乙)公使館所在地

一　英吉利　ロンドン

二　露西亞　サンクトペテルボルグ（瑞典那威ヲ兼ヌ）
三　北米合衆國　ワシントン
四　佛蘭西　パリー（西班牙、葡萄牙ヲ兼ヌ）
五　獨逸　ベルリン
六　墺地利匈牙利　井エン（瑞西ヲ兼ヌ）
七　和蘭　ハーグ（丁抹ヲ兼ヌ）
八　伊太利　ローマ
九　墨西哥　メキシコ
一〇　暹羅　バンコック
一一　伯剌西爾　リオデジアヂイロ
一二　清國　北京
一三　韓國　京城

一四　白耳義　ブリウクセル

(丙)領事館所在地

一　北米合衆國
ニウヨーク　シカゴ　サンフラン
シスコ　タコマ　フィラデルフィア
ニウオリアンス　ホノルヽ　マニラ
香港（澳門ヲ兼ヌ）　シンガポール（ペナン、マラッカ、ジヤバヲ兼ヌ）
ボンベー　メルボルン　アデレード
タウンス、ビール　ウエリングトン
シドニー　バンクーバー
コルサコフ　ウラジヲストック
オデッサ
アムステルダム

二　英吉利

三　露西亞

四　和蘭

五　佛蘭西　リオン　マーセーユ
六　獨逸　ベルリン　ハンブルヒ　ブレメン　アンベール
七　白耳義　ナポリ　エニス　メシナ　ローマ　バレルモ　ゼノア　トリエスト
八　伊太利　メキシコ
九　墺地利匈牙利
一〇　墨西哥
一一　清國　上海（鎭江、寧波ヲ兼ヌ）　天津　芝罘　蘇州　杭州　沙市　重慶　厦門　福州　牛莊　漢口（九江ヲ兼ヌ）　廣東（汕頭、瓊州ヲ兼ヌ）
一二　韓國　仁川　釜山　元山　京城　木浦　鎭南浦　群山浦

生業

我ガ帝國ハ、氣候溫和ニシテ、土地豐饒ナレバ、天産物ニ富ミ、各種ノ生業盛ニ行レリ、

(甲)農業

我ガ邦ハ古來農ヲ以テ國ノ大本トセシガ故ニ、豐葦原千五百秋之瑞穗國ノ稱アリ、神武天皇ノ諸國ニ衣食ノ料トナルベキ植物ヲ播種セシメ、崇神、垂仁、仁德天皇ノ諸道ニ池溝ヲ穿チテ灌漑ニ便ニナシ給ヒシガ如ク、上ヨリコレヲ奬勵セシメケレバ、コノ業能發達シ、他ノ生業ヲ凌グニ至レリ、現今農民ハ凡千三百萬人ニ及ビ、全國人口ノ三分一ニ居リ、耕地ハ五百萬町歩ニ上リ、民有地ノ三分ノ一ヲ占ム、サレドモ歐米各國ノ耕地ガソノ面積ノ百分ノ三十乃至四十以上ニ至レルモノト比スレバ、我ガ邦ノ耕地ハ全面積ノ百分ノ十一ニ過ギザルヲ以テ、未完全ナル農業國トハ呼バレザルベシ、今本邦各國ノソノ面積ニ對スル比ヲ見ルニ左ノ如シ、又耕

地及農產物ノ多少ヲ伺フニ足ルベキナリ、

(一)四十五分以上　尾張

(二)四十分以下三十一分　河内　武藏　上總　下總　筑後　肥前　壹岐

(三)三十分以下二十五分　常陸　相模　攝津　和泉　讃岐　筑前　大隅

(四)二十五分以下十九分　安房　三河　伊勢　伊賀　越中　淡路　備前　備中　隱岐　肥後　薩摩

(五)十九分以下十六分　下野　越後　加賀　能登　遠江　近江　山城　播磨　周防　伊豫　豐前

(六)十六分以下十二分　陸前　越前　佐渡　大和　志摩

(七)十二分以下九分　陸奥　陸中　羽前　羽後　磐城　岩代　信濃　甲斐　駿河　美濃　丹波　因幡　美作　長門　阿波　土佐　日向　伯耆　出雲　備後　安藝　豐後　伊豆　紀伊　但馬　石見　對馬

(八)九分以下六分

(九)六分以下

右ハ面積ニ對シテ各國耕地ノ比ヲ示セシガ、耕地凡五百萬町歩ノ內、田地ハ二百七十三萬町歩ヲ第一トシ、福岡、兵庫、千葉コレニ次グ、畑地ハ二百二十七萬町歩ニシテ、鹿兒島縣ノ十六萬町歩ヲ第一トシ、熊本、茨城コレニ次グ、以上ハミナ孰レモ十萬町歩以上ノ耕地ヲ有セルモノナリ、コレ等ノ國々ハ耕地ノ面積大ナレバ、農產物

チ産スルコト多ケレドモ、飛驒、但馬ノ如キハ耕地ノ狹隘ナルニ從テ、ソノ産額モ亦少シ、岩代、信濃ノ如キハ山國ニシテ耕地少キモ、養蠶業ノ主産地ナルヲ以テ著ハレ、近江ノ如キハソノ耕地ハ比較的多キニモ係ハラズ、養蠶製茶ノ業又盛ナリ、今本邦ニ於ケル農産物ノ主要ナルモノヲ擧グレバ、左ノ如シ、

(一)穀類　米　麥　豆類　粟　蕎麥　玉蜀黍　胡麻
(二)蔬菜　甘藷　馬鈴薯
(三)工藝的原料　綿花　麻類　藍　菜種　藺　楮　櫨　絲瓜　人參　甘蔗　漆
(四)飲食用品　茶　薄荷　煙草　菓物

米ハ何レノ低谷及平地ニ産スト雖、各地ソノ産額ノ多

少、性質ノ良否アリ、本州ニ於テ三千七百萬石ヲ産シ、九州ニ於テ七百萬石、四國ニ於テ三百萬石、北海道ニ於テハ僅ニ七萬石內外ニ過ギス、臺灣ニテハ少クモ三百萬石ノ産アルベケレバ、本邦ノ産額凡四千七百萬石ニ上ルベシ、本邦中産額ノ多キハ、越後ヲ以テ第一トシ、一ケ年二百七八十萬石ニ上リ、兵庫縣ノ二百餘萬石、コレニ次グ、ソノ他百萬石以上ノモノ多シ、

(一)本州　新潟　兵庫　愛知　千葉　富山　岡山
山口　福島　三重　滋賀　長野　茨城
石川　山形　秋田　大阪　宮城　廣島
岐阜

(二)九州　福岡　熊本　佐賀

性質ノ佳良ナルモノハ伊勢、肥後、防長、近江、美濃、播州米トス、

長圓形ニシテ溝淺ク、堅硬ニシテ乾燥宜シク、色澤アリテ粘力ニ富メル中粒米ナルモノナリ、米ハ本邦人ノ常食ニ供ゼラルヽノミナラズ、酒造ノ原料トナルベケレバ、頗必要ナル穀物ト謂フベシ、年々我ガ邦ヨリ英國、香港、獨逸、濠州等ヘ輸出スルモノ、又英領印度、佛領印度、韓、清、暹羅國ヨリ輸入スルモノ、各百餘萬担ニ達セリ、外國ヘ輸出セラルヽ米ハ、料理用ソノ他菓子、麵包、澱粉、酒類製造ノ原料、及下等社會人民ノ食料ニ充テラルヽモノニシテ、主ニ九州、四國、中國米、即豐前、豐後、筑前、肥後、伊豫、備前及中國米等ナリ、コレ等ハ肥大長形ニシテ乾燥、光澤共ニ宜シキヲ得、白色ナル大粒ヲ可ナリトス、

麥　本州ニハ一ケ年ノ産額千五百萬石ニシテ、九州コレニ次ギ、三百五十萬石アリ、四國ノ百七十萬石、北海道ノ十餘萬石又コレニ次グ、合シテ一ケ年凡二千餘萬石ヲ産ス、麥ハ東北地方及降雨多キ地方ニ適セザルガ故ニ、ソノ主産地ハ本州ノ中部及西南部、四國及九州ノ北部ニシテ、九十萬石以上ヲ産スル所ハ、埼玉、茨城、兵庫、熊本ノ四縣ニ過ギズ、

麥ニ大麥、裸麥、小麥ノ種類アリ、本邦人ハ食料トシテ大麥及裸麥ヲ嗜ムヲ以テ、大麥、裸麥ハ最多ケレドモ、小麥ハ極メテ少シ、今ソノ産額ノ比ヲ示サバ、大麥ハ四十三、裸麥ハ三十七、小麥ハ二十ノ割合ヲナセリ、ソノ三種ノ麥ニツキテ、一ケ年二十萬石以上ノ産地ハ左ノ如シ、

(一)大麥　埼玉　群馬　栃木　愛知　茨城　千葉　靜岡　長野　岐阜　宮城　神奈川　山梨　福島　岡山　島根　東京　兵庫　廣島　愛媛　福岡　香川　熊本　德嶋　岡山　山口　大阪　和歌山　長崎

(二)裸麥

大分　愛知　三重

(三)小麥　埼玉　茨城　群馬　福岡

小麥ハ麥酒ノ醸造及麥粉ノ製造ニ用ヒラル、モノナレドモ、我ガ邦ニハ前ニ述ベシガ如ク、小麥ノ産額ハ微々ナルト、且我ガ邦ノ小麥ハ、ソノ質不良ナレバ年々北米合衆國、韓國等ヨリ輸入スルモノ四五百萬斤ニ及ブ、我ガ邦ヨリ露領シベリア地方ヘ輸出スルモノモ、年々增加スルノ傾アリ、

豆類　大豆ハ本州ニ二百三十五萬石、九州ニ四十八萬石、北海道及四國ニ十萬石內外ヲ産シ、全國三百餘萬石ノ産額アリ、茨城、岩手、埼玉、最多ク、各二十萬石以上ニ上リ、コレニ次グハ長野、熊本、千葉、群馬、福島、宮城、長崎ニシテ、皆十萬石以上ノ産地ナリ、就中常陸ノ眞壁、筑波ノ兩郡ヨリ産スル赤莢大豆及武藏ノ北部地方ヨリ産スルイタチ大豆ハ、品質佳良ナルヲ以テ、醬油醸造ノ原料ニ用ヒラル、近年清韓兩國ヨリ、我ガ邦ヘ輸入スル大豆年々凡二三百萬圓ニ達スベク、清國牛莊産ハ、ソノ質良カラザルガ故ニ米茶等ノ肥料ニ供ゼラレ、韓國産ハ我ガ邦ノモノヨリ遙ニ良質ニシテ且廉價ナレバ、味噌、醬油及豆腐ノ原料トナスモノ多シ、

小豆　ハソノ産額、大豆ノ凡五分ノ一ニ居リ、年々二萬石以上ヲ産スル地ハ、栃玉、茨城、栃木、長野及熊本ノ數縣アルノミ、重ニ製餡ニ用ユ、

菜　九州ノ百三十萬石ヲ以テ本邦ノ第一トシ、全國ノ凡二分ノ一ヲ占ム、就中熊本ノ五十餘萬石他縣ニ冠絶ス、鹿兒島、福岡、大分コレニ次ギテ、各十萬石以上アリ、

落花生　各地多少ノ産アルモ、千葉縣ノ三百萬斤ニ及ブモノナク、香港、露西亞、英領印度等ニ輸出ス、

胡麻　本邦各地ニ産シ、薑ハ熱帶地方ノ特産ナレドモ、駿河ノ沼津產ハ、本邦ニ名アリテ、外國へ輸出セラル。

栃木、長野ハ八萬石ノ稗ヲ產シ、愛知ハ四萬石ノ黍ヲ產シ、長野、茨城ハ五萬石ノ蕎麥ヲ產シ、共ニ本邦中ニ著ハレリ、

甘藷　南部ノ氣候溫暖ナル地方ニ多ク、鹿兒島縣ハ全國產額ノ六分ノ一ヲ占メ、年々一億貫ニ上レリ、馬鈴薯ハ寒冷ナル地方ニ多シ、北海道ノ凡三千萬貫ハ全國ノ二分ノ一ニ當レリ、ソノ主產地ハ、左ノ如シ、

甘藷　鹿兒島（一億貫以上）　沖繩（六千萬貫）　熊本　長崎（五千萬貫）　愛媛　大分　宮崎　廣島　德島　埼玉　千葉　愛知　靜岡　高知　石川　山口

馬鈴薯　北海道（凡三千萬貫）　福島　青森　新潟　秋田　宮城　岩手　長野　山梨　神奈川（百萬貫以上）

茶　降雨多キ暖地ニ生長スル植物ニシテ、東半球ノ東南部ニ繁生スルノミ、本邦、清國及印度ノアッサム、セイロン地方ハ世界中有名ナル主產地ナリ、本邦ニ於ケル主產地ハ、次ノ如ク五部トナスヲ得ベシ、

一　關東地方（下總、常陸、武藏、安房、上總）

二　駿遠地方

三　近畿地方（山城、大和、近江、美濃、伊賀、伊勢、丹波）

四　九州西部地方（筑前、筑後、肥前、肥後、薩摩）

五　臺灣北部地方（基隆、淡水、大姑陷）

茶畑ノ總數ハ凡六萬町歩アリ、靜岡縣ソノ四分ノ一ヲ占メ全國ニ冠タリ、三重、京都、茨城、熊本、福岡、岐阜、東京、愛媛、高知、鹿

兒島、奈良、埼玉、滋賀、千葉、新潟、兵庫、佐賀、宮崎ハ、ミナ一千町歩以上ヲ有スル地トス、內地ニ産スル所ノ茶ニハ、玉露、煎茶、紅茶、烏龍、番茶ノ種類アリ、合シテ一ヶ年ノ産額ハ百餘萬貫ニ及ベリ、臺灣ノ産額不明ナレドモ一ヶ年五百萬圓ヲ輸出スルトイフ、コレヲ算入スレバ一千萬貫以上ニ至ルベシ、就中靜岡ハ三百萬貫ヲ產シ、本邦第一ト稱ス、京都、三重、岐阜コレニ次ギ、三百萬貫以上ノ產アリ、奈良、福岡、熊本、德島、滋賀、兵庫、山口、高知、鹿兒島、埼玉、茨城、岡山、愛媛、新潟、廣島、愛知等コレニ次ギ、十萬貫以上アリ、

茶ハ本邦重要產物ニシテ、北米合衆國、加奈陀、英國等ヘ年々輸出スルコト七八百萬圓ニ上ルベシ、又臺灣烏龍茶ハ北米合衆國、加奈陀ヘ九割、英國ヘ七分、海峽殖民地ヘ三分ノ割ヲ以テ輸出シ、包種ハ支那人ノシンガポール、マニラ、ボルヲオ等ノ外地ニ在ルモノニ販賣ス、包種トハ粗製ノ烏龍茶ニシテ黃枝秀英、茉梨、樹蘭ノ花ヲ以テ香氣ヲ附セシモノヲ云フ、即我ガ茶ノ得意先ハ北米合衆國及加奈陀ナリトス、

烟草　本邦ニ於ケル烟草ハ、主トシテ北緯三十八度以南ノ東岸ニ產スレドモ、北緯三十八度以北及日本海沿岸ノ地方ニハ、ソノ產少シトス、

(一)東山道　磐城松川　陸中大迫(ハサマ)　上野蓮華葉

(二)東海道　下野根口、達磨　常陸赤土、天下野、水府　下總桐ケ作　相模秦野　武藏秩父

(三)山陽道　美作津山　備中成羽　備後三原

(四)南海道　阿波池田

(五)西海道　豐後直入、日田　肥後水俣(ミナマタ)、大畑、小國、飽

田

薩摩出水、揖宿

全國葉烟草ノ産額ハ、一ケ年百七十餘貫ニシテ、茨城、岡山ソノ首位ヲ占メ、ソノ三分ノ一ヲ産ス、ソノ他十萬貫以上ヲ産スル地ハ、神奈川、福島、德島、鹿兒島(五十萬貫以上)廣島、熊本、福岡、大分、栃木、山梨、千葉、長野、靜岡、愛知、滋賀、福井、石川、新潟、山形、秋田、岩手、大阪、兵庫、愛媛、高知、宮崎等ナリ、赤間關、長崎ノ刻烟草ノ如キ、京都ノ村井兄弟商會、東京ノ岩谷商會、及大阪ニ産スル各種ノ卷烟草ノ如キ、ミナ有名ナリト雖、原料ハソノ地ニ産スルニ非ズシテ、他ノ産地ヨリ購入スルモノナリ、

我ガ邦ヨリ英國、香港、韓、清諸國ニ輸出スルモノ、年々凡二三十萬圓ニ達シ、又北米合衆國、伊太利、獨逸、佛蘭西マニラ等ヨリ輸入スルモノ、凡五十萬圓ニ及ベリ、關東、東北地方、畿內、中國、九州産ハ、外國輸出ニ適シ、外國ヨリ輸入スルモノハ、紙卷烟草ヲ主トシ、卷烟草、刻烟草コレニ次グ、紙卷烟草ハ米國ノピンヘッド、カメオ、オールデン、ブリシラ卷烟草ハ米國ノゴールド、刻烟草ハマニラ産名アリ、

菜種

我ガ邦ニ於テ、三重、滋賀、大阪、福岡、愛知、鹿兒島ハ菜種ノ主産地ニシテ一ケ年四萬石以上ヲ産シ、北米合衆國、香港等ヘ輸出ス、コレ種油ノ原料ニ用ヒラルヽモノトス、大阪、愛知、福岡、滋賀ハ菜種油ノ産ヲ以テ名アリ、ソノ油糟ハ綿種糟、大豆糟ト共ニ肥料ニ用ヒラルヽヲ以テ、殊ニ需要多ク、清國牛莊及韓國ヨリ輸入スルモノ、年々百餘圓ニ達スベシ、

藍

本邦各地ミナコレヲ産セリ、四國、九州、十州ニ産スルモノハ蓼科ニ屬シ、大隅ノ大嶋、沖繩及小笠原群島ニ産スルモノハ、山藍ニシテ、臺灣ニ産スルモノハ、園菁及山菁トイヘル合歡木ノ類ナリ、印度ニ産スルモノハ、荳科植物ナレバ、同

ジク藍靛ノ原料ナルモ、各種類ナ異ニセリ、藜科ノ藍ハ阿波國吉野川沿岸ナ推シ、山藍ハ鹿兒島、沖繩兩縣ナ著シトス、今ソノ主産地ナ擧グレバ、左ノ如シ、

一、關東地方
二、伊勢海地方
三、瀨戸內海及紀伊水道地方
四、九州ノ西北部及南部地方
五、大島及沖繩群島地方

葉藍一百萬貫以上ナ産スルモノハ、德島(四百五十萬貫)、福岡(二百萬貫)、愛知(百六十萬貫)、埼玉(百二十萬貫)ノ四縣ニシテ、全産額千九百萬貫アリ、サレドモ、本邦産藍ナ以テ、全國ノ需要ナ充スニ足ラザレバ、年々英領印度等ヨリ輸入スル額、五六十萬圓ナリトス、

砂糖　甘蔗、甜菜、楓等ハ製糖ノ主ナル原料ナリ、甘蔗ハ熱帶ニ適シ、世界中フイリッピン群島、西印度群島、ブラジル等ハ有名ナル主産地ナリ、本邦ニテモ北緯三十五度以南ノ暖地即四國九州ニ多シ、甜菜ハ寒地ニ適シテ、獨逸、墺地利、匈牙利、佛蘭西ハ、ソノ産地ナ以テ名アリ、本邦ニテハ北海道石狩、膽振地方ニ培植セラレ、札幌、紋鼈ノ兩製糖會社ニテ盛ニコレヨリ砂糖ナ製セリ、

砂糖ニ白下、赤砂糖、白砂糖、黑砂糖及糖蜜ノ種類アリ、本邦産ニテハ黑砂糖最多ク、四百餘萬貫ニ上レリ、白下コレニ次グ、赤砂糖、白砂糖、糖蜜ハソノ極メテ少シ、

(一)黑砂糖　鹿兒島(三百萬貫)　熊本(七十萬貫)　長崎　靜岡(十萬貫以上)

(二)白下　香川(百八十萬貫)　東京　宮崎　愛媛　德

島　高知　鹿兒島　靜岡(二十萬貫以上)

(三)赤砂糖　香川(二十萬貫)　愛媛(十萬貫)

(四)白砂糖　德島　香川　德島(十萬貫)

(五)糖蜜　香川(二十萬貫)

ソノ他臺灣ニテ製糖業ノ盛ニ行ハルヽハ、臺南縣地方ニシテ、一ケ年凡九千萬斤以上ノ赤白兩種ノ砂糖ヲ產シ、北海道ヨリ四五十萬貫ノ甜菜糖ヲ產スレドモ、年々菓子製造ノ盛ニナレルト、飮食物ノ贅澤ニ赴ケルヨリ、本邦產ニテハ到底コレヲ充ス能ハザレバ、香港、獨逸、フイリッピン群嶋ヨリ輸入スル砂糖、年々增加シテ千五百萬圓ニ上ルニ至レリ、

綿花　綿花モ甘蔗ト同ジク、暖地ニ適スル植物ニシテ、北米合衆國、英領印度、埃及等ハ世界ニソノ名ヲ知ラレタリ、本邦ニテハ降雨少キ地方ニ多ク、北緯三十八度即仙臺以南ノ太平洋面地方ト、北緯三十九度即酒田以南ノ日本海面地方ニ產ズルモノヽ如シ、今左ニソノ主產地ヲ列擧ス、

一　關東平野附近地方　千葉　山梨(四十餘萬貫)　埼玉(三十萬貫)　茨城(二十萬貫)　栃木(十萬貫)

二　濃美平野地方　愛知(六十萬貫)　靜岡(十萬貫)　三重(八萬貫)

三　瀨戶內海附近地方　大阪　廣島(八十萬貫)兵庫　岡山　京都　山口　香川(二十萬貫乃至十萬貫)

四　雲伯地方　鳥取(百萬貫)　島根(二十萬貫)

本邦日ニ月ニ紡績業ノ隆盛ナルニ從ヒテ、本邦產ノミニテ

ハ、コレヲ供給スル能ハズシテ、北米合衆國、英領印度、佛領印度、清國等ヨリ輸入スル棉花年々二三千萬圓ニ上レリ、

麻類　麻ハ麻織及魚網ノ原料トナルモノニシテ、アバカ、黃麻、大麻、苧麻、亞麻等ノ種類アリ、アバカハフイリツピン群島ニ、黃麻ハ英領印度、ニウジーランド島ニ、大麻、苧麻ハ、露西亞、北米合衆國ニ、亞麻ハ、白耳義ニ多シ、本邦ニテハ大麻ヲ最多シトス、コレハ各地ソノ產アルモ、栃木(八十五萬貫)廣島(四十萬貫)殊ニ著ハル、苧麻ハ米澤及臺灣ニ多ク、亞麻ハ北海道ニ栽培セラレ、凡二十萬貫ノ產アリ、黃麻及アバカハ臺灣ニ產スルモ、ソノ產額多カラズ、合シテ年々ノ產額凡三百餘萬貫ニ過ギズ、コレヲ英領印度、清國、フイリツピン群島ヨリ六七十萬圓ノ麻ヲ年々輸入セリ、

絲瓜　ハ夏帽ニ用ヒラレ、又海綿ニ代用セラルヽヲ以テ

飛驒、遠江、三河地方ヨリ年々英、佛、米ニ輸出スルヿ多シ

人參　人參ニ紅人參、白人參及鬚人參ノ種類アリ、韓國開城人參ハ、ソノ名ヲ博ク世人ニ知ラル、ガ、我ガ邦ニテハ出雲、伯耆、岩代、信濃、羽後、下野ニ多シ、就中會津(三十萬斤)、雲州(五萬斤)信州(五萬斤)名アリ、

薄荷　ハ薄荷腦及薄荷油ヲ製スル原料ニシテ、菓子、齒磨ソノ他食用ニ供ゼラル、主要ナル產地ハ最上川沿岸ニシテ一萬餘斤ヲ產ス、越後、信濃、上總、三河、三備地方コレニ次ギテ英領印度、英吉利、獨逸、北米合衆國等ヘ輸出ス、

菓實類　北部ニハ、北海道、奥羽地方ニ林檎ノ產アリ、南部ニハ紀伊、和泉、豐後ニ蜜柑、長門ノ荻ニ夏蜜柑、九州南部地方ニ佛手柑、香櫞アリ、臺灣ニ檸檬、龍眼アリ、甲斐及札幌ハ葡萄ノ產ヲ以テ著ハレ、美濃ノ蜂屋柿、安房ノ枇杷又名アリ、殊ニ

紀州、溫州蜜柑及薩摩甜橙（唐蜜柑ト云フ）ハ北米合衆國、韓國等ヘ年々輸出セラル、コト多ク、頗高評ヲ得ツヽアリ、實ニ菓物類ハ西洋人ノ大ニ嗜食スル所ニシテ、ソノ食卓上ニハ必菓物ノ上ラザルハナシ、我ガ邦ニアリテモ上古ノ世コレ等ヲ一般ニ菓子トシテ用ヒ來リシガ、隋唐交通後砂糖ノ漢土ヨリ輸入セラルヽニ及ビ、餡餅（アン）、桂心、煎餅、唐菓子等ノ製アリ、次デ德川八代將軍吉宗ノ時青木文藏ノ砂糖ヲ製出セシヨリ、初テ本邦製糖ノアルアリテ、今日ノ如ク種々ノ菓子ヲ製スルニ至リシナリ、

植木類　攝津ノ池田及横濱附近ノ中村ハ植木ノ産地ヲ以テ、本邦ニ著ハル、各種ノ植物ヲ歐米各國ヘ輸出セリ、輸出セラルヽ植木類中百合、蘇鐵、腊葉、菊、梅等殊ニ多シトス、

要スルニ我ガ邦ハ氣候溫和ニシテ農産夥シキヲ以テ、或ハ日常ノ食用品トナリ、或ハ諸種ノ工藝品ニ供ゼラレ、我ガ邦ノ富强ヲ增スコト少々ニアラザルナリ、世界ノ農産國ノ富强ヲ致スモ亦コレガ爲ナラズヤ、

(七)林業

本邦ノ山林ハ、御料林、官林及民林ノ三種ニ區別セラレ、二千三百餘萬町歩ノ反別アリ、コレニ原野ヲ合スレバ、二千八百餘萬町歩即一萬八千方里ニ達シ、全面積ノ七分ヲ占ムベシ、

御料林　ハ帝室ノ御領ニシテ、二十五萬町歩アリ、札幌、靜岡、名古屋ノ三支廳コレヲ分轄ス、木曾ノ山林ハ十五萬町歩アリテ檜、杉、欅、椹、松、ノ良材ヲ產シ木曾五木ノ稱アリ、檜ハ本木ト唱ヘラレ、杉ハコレニ次ギテ名アリ、共ニ千二百萬本ニ達スベシ、實ニ本邦第一ノ名林タリ、天城ノ山林ニ欅、檜、杉、樅ノ類夥シク、ソノ面積二十方里、木數凡一億餘萬本アリ、就中

欅ハ艦材トシテ用ヰラル、

官林　ハ農商務省ノ所轄ニシテ七十三萬町歩アリ、青森、秋田、岩手、宮城、福島、東京、長野、石川、大阪、岡山、廣島、愛媛、高知、福岡、熊本、鹿兒島ノ十六大林區及三百有餘ノ小林區コレヲ分轄ス、官林ノ廣大ナルハ東北地方ニシテ、秋田、青森、東京、長野大林區ハ各九萬町歩以上ヲ占メリ、十州島ニ六十萬町歩ノ官有山林アリ、ソノ他諸府縣ニアルハ、各地方廳ノ所管タリ、

民林　モ地方廳ノ所轄ニ属シ、七十二萬町歩ノ反別アリ、岐阜縣ノ五十五萬町歩本邦ニ冠タリ、岩手、廣島、兵庫、島根、岡山、和歌山、高知、靜岡、長野、三重、愛媛、新潟、福島ノ諸縣コレニ次ギ、孰レモ二十萬町歩以上ノ反別アリ、

右ニ述ベシ山林ヨリ得ル産物ハ、杉、檜、松、樫、欅、樅ノ建築用木材アリ、松、楢、樫ノ薪炭用材アリ、樟腦、松脂、松煙、椎蕈、醋酸、木蠟、漆ノ副産物アリ、コレ等ヨリ得ル所ノ年々ノ利益ハ凡七八百萬圓ニ達スベシ、本邦中山林及原野ノ最廣大ナルハ、北海道ニシテ八百九十餘萬町歩アリ、岐阜、長野、秋田、青森、福島各百餘萬町歩ニシテコレニ次グ、

北海道ニハ、落葉松（クイ）、蝦夷松（エンク）、椴樺（フツヅカンビ）ノ諸樹繁茂シ、建築及造船ノ材ニ用ヒラレ、楢（トンニーク）ハ俎板、曲物ノ器具ニ供ゼラル、土人ハコレヲ削リテ花形トシ、神ニ上ル、コレヲイナト呼ベリ、白楊（ドロ）ハコヤナギハ膽振國長流（オサル）川沿岸ニ多ク、材質白色柔軟ニシテ燐寸ノ軸木トナス、琪瑜樹（オンコ）ハ各地ニ産シ、ソノ色赭ク、木理緻密ニシテ、鉛筆及櫛ノ材ニ適シ、土人コレヲ以テ弓ヲ造レリ、ソノ他諸種ノ木材ニ富ミ、小樽、函舘ヨリ外國ヘ輸出スルコト夥シ、

陸奥山林ニハ檜、松、杉、羅漢柏多ク、立木四千二百萬本、反別二

十八萬町歩アリ、羽後ノ山林ハ二百萬町歩ノ反別ヲ有シ、杉、松、檜、桂、栗、橡ノ類二千二百萬本アリ、兩毛山林ニハ二十三萬町歩、木數數千萬本アリテ杉、檜類、栂、松、桂、橡、楢、栗、山毛欅ニ富ム、日光神代木ハ箱根産ト共ニ名アリ、越中山林ハ北陸第一ノ大山林トシテ、ソノ名高ク杉、栂、松、樅、欅ニ富ム、房總半島ノ鹿野山林ハ松、杉ノ良材ヲ出シ、駿遠山林ヨリ多ク檜、栂、樅、欅、松ヲ産シ、ソノ區域ノ廣大ナルト、材質ノ良キヲ以テ著ハレ、田代山林及千頭山林殊ニ名高シ、伊勢山林ハ大和山林ト相接シ、杉、檜、松、栂、樅、欅ヲ産ス、就中吉野山林ハ近畿第一ノ大林ニシテ反別八萬町歩、立木ノ數七億五千ニ及ベリ、又春日山林ハ櫟、柏、櫟ノ巨木欝蒼タリ、紀伊山林、四國山林、中國山林モ亦杉、檜、松ニ富メリ、西海道ハ氣候溫暖ナルヲ以テ黒松、櫟、栂、柞、杉、樅、欅、樟等ノ巨木殊ニ多ク、中部ニハ黒松、樟ノ十抱以上ニ及ブモノアリ、南部ニハ熱帶産ノ植物、榕（アカギ）、蒲桃（フトモヽ）、橙ヲ産ス、又諸種ノ竹多ク生ジ、竹林ハ九州山林ノ三分ノ一ヲ占ムトイフ、南部最廣ク四十萬町歩ノ面積ト十億餘本ノ立木ヲ有ス、ソノ面積ノ廣大ナルト立木ノ多キコト全國ニ冠タリ、薩摩杉、日向ノ樟ハソノ名世ニ聞ユ、中部コレニ次ギ二十萬町歩ノ面積ト一億八千本ノ立木ヲ有セリ、

本邦ノ南部ナル沖繩山林ニハ棕櫚及芭蕉ノ如キ、熱帶性ノ植物多ク生長ス、コレ等ノ植物ノ纖維ハ織物ノ原料トナル、臺灣山林ニハ樟、杉、松アリ、カタン材ハ紫檀ニ類シテ恒春地方ニ多ク、烏心木ハ黒柿ニ似、嘉義地方ニ多シトス、

右ニ列擧シタル樹木中、建築及器具ソノ他ノ材料トナリ、吾人ニ利益ヲ與フルモノヲ左ニ略述セン、

山毛欅　ハ北緯三十六度以北ニ産シ椀、杓子等ノ器具用

材トシテ用ヒラル、

杉　ハ秋田附近、日光山、多摩川及天龍川上流地方、山城ノ北山、吉野、屋久島ニ産ス、殊ニ秋田、屋久杉ハソノ名南北ニ著シ、杉ハ有用ナル木材ニニシテ、家屋、船舶、橋梁ヨリ桶、箱、障子等ニ至ルマデソノ用極メテ廣ク、又ソノ皮ヲ以テ屋ヲ葺クベシ、

扁柏又ハ檜　ハ概杉樹ノ繁茂セル地方ニ多シ、木曾本木最名高ク、吉野、高野山、土佐ニモ亦良材ヲ出ス、方柱或ハ平板トナシテ建築及器具ニ用ヒラレ、又薄片トナシテ笠ヲ編ミ、席ヲ織ルベク、ソノ皮ハ檜皮ト稱セラレ、我ガ邦古代ヨリ屋根ヲ葺クニ用ヒラルヽ等、ソノ効用ノ大ナルハ杉ニ讓ラズ、山陽鐵道ノ枕木ハ率高野産ヲ用ユトイフ、

樅　ハ駿遠地方、吉野、中國、伊豫、土佐、霧島山附近ニ産シ、ソノ材ハ白色輕軟ニシテ器具ソノ他用ユル所頗多シ、

欅　ハソノ材質堅硬ニシテ美シク、造船及建築用ノ材ニ供ゼラル、天城、木曾ノ山林ニ夥シク、ソノ他紀伊、長門、日向、陸奥ノ諸國ヨリモ亦良材ヲ出ス、

樫又ハ櫧　ニ血櫧(アカガシ)及麪(シラ)櫧ノ二種アリ、諸國コレヲ産ストイヘドモ、九州南部地方即肥後、日向、大隅、薩摩及三河ヲ以テ最良トス、血櫧ハ木質堅硬緻密ニシテ色赤ク、車輪、轅、柁櫓ヲ造ルベク、麪櫧ハ材色白クシテ粘力強ク天秤ヲ製スベシ、

栗　ハソノ材質堅硬ニシテ能ク水溫ニ堪ユ、故ニ土臺、溝板トナシ、或ハ諸種ノ器具ヲ製スベシ、東北地方即三陸、兩毛、及丹波、石見ヨリ、ソノ良材ヲ出セリ、東北鐵道ノ枕木ハ率コレヲ用ユトイフ、總テ鐵道ノ枕木ニハ栗、檜、樫、柟刺(タモセン)桐、桂、楓(ヌヂ)柾樹、唐松ノ類ヲ用ユルモノナリ、

黒松（クロマツ）　ハ棟梁、船舶、橋梁及諸器械ノ材トナリ、ソノ脂ハ採リテ松脂トナシ物ニ塗リテ、ソノ腐敗ヲ防クベシ、各地ミナコレヲ産セザルハナシ、

赤松　ハ樹皮赤色ヲ帯ビ、材質彈力アリテ工作ニ用ユベシ、各國コレヲ産スト雖ドモ、五畿、東南諸道、東北地方最多シ、コノ山林ヨリ松葺ヲ産ス、

水松（イチイ）　ハソノ材色淡紅、質ハ緻密ニシテ美ナリ、古來コレヲ以テ笏ヲ作レリ、諸國ミナコレヲ産スト雖ドモ、飛騨ノ位山ニ産スルモノ殊ニ名アリ、

檜（ヒノキ）　ハ薪炭ニ適ス、池田及佐倉ハソノ名殊ニ高シ、本邦ヨリ英領印度、清國、韓國等ヘ輸出スル木材ハ、年々四五十萬圓ニ及ブ、ソノ種類ハ松、杉、扁柏、欅、栗、樅、花柏、梅、樟、桑、黒柿等ニシテ宮崎、高知、奈良、愛知、岐阜、靜岡、秋田、青森等ノ諸縣ヨリ出スモノヲ多シトス、輸出向ノ木材ハ松、杉、樅ノ板類ヲ主トシ、樅ノ角物、杉ノ丸太コレニ次グ、カク年々我ガ國ヨリ外國ニ木材ヲ輸出スルモ亦、北米合衆國ヨリ亞米利加松（オレゴンパイン又ハダグラスファー又ハオレゴンパイン）及英領印度、清國、暹羅ヨリ鐵刀木（タガヤ）、紫檀、黒檀等ヲ輸入シ、汽車、汽船、軍艦ノ用材トナスコト年々多キヲ加ヘリ、目下輸出入ノ價額略相同ジ、

薪炭用材ニハ松、楢、櫟、櫪ソノ他雜木アリ、東部ノ木炭ハ櫟ヲ用ヒ、西部ハ櫪ヲ用ユ、池田、佐倉及日向炭殊ニ名アリテ、清韓地方ヘ年々十万圓内外ヲ輸出セリ、又山林ノ副産物ニハ、樟腦、櫨蠟、漆、椎葺等アリ、

樟腦　ハ暖地ノ植物ナレバ、九州南部地方即肥後、日向、大隅、薩摩及臺灣西蕃地ニ多ク産シ、紀伊、土佐、伊勢、駿河、遠江ヨレニ次グ、年々香港、北米合衆國、獨逸、英、佛諸國ニ輸出スル額、

百五十萬圓ニ上レリ、我ガ邦ニテハコレヲ殺蟲用ニ供シ、外國ニテハ無烟火藥、石鹸、コルセット製造ニ用ユ、樟腦油モ年々四五萬圓ノ輸出額アリ、

櫨蠟　モ亦暖國ニ適スル植物ナレバ、北緯三十六度以南ノ南部地方ニ夥シ、四國、九州、中國ノ全產額百六十萬貫アリ、伊豫ハ本邦中第一ノ產地ニシテ、ソノ二分ノ一ヲ占ム、福岡縣ノ七十萬貫コレニ次グ、ソノ他長崎、熊本、大分、佐賀、山口、兵庫、和歌山ハ各十萬貫以上ノ產アリ、蠟ニ生蠟及白蠟（晒蠟トモイフ）ノ別アリテ白蠟ハ香港、北米合衆國、英領印度、英佛諸國ヘ輸出セラル、年々三四十萬圓餘、我ガ邦ニテハ、蠟燭、鬢附、石鹸、染料ノ原料トシテ用ヒラル、昔時男子ノ結髮セシ時ハ、鬢附ノ需用多カリシモ、今ハ大ニ減ジテ只蠟燭等ニ用ユルノミ、外國ニテハ織物及紙類ノ蠟引及石鹸ノ原料ニ使用セリ、

漆　ハ櫨トハソノ產地正反對ニシテ率北緯三十六度以北ノ寒國ニ產ス、信濃及下野ハ本邦第一ノ產地ニシテ、信濃ハ六千貫ヲ產シ、全產額ノ凡七分ノ一ヲ占ム、下野ハ四千貫ヲ產ス、ソノ他主要ナル產地ヲ神奈川、茨城、山梨、愛知、福井、石川、新潟、福島、山形、岩手、青森、岡山トス、漆汁ハ苗木ヨリハ十年ヲ經ザレバ生ゼズ、又株根ヨリ發芽セシモノハ、八年ニシテ漆汁ヲ得ルガ如ク、長年月ヲ經過シテ初テ需要ニ應ズルホドナルニ、本邦ニ於テハコレヲ濫伐セシ結果、近年大ニソノ產額ヲ減少シ、漆器業者ハ爲ニ漆ヲ淸國及英佛領印度ヨリ年々十四五萬圓、洋漆ヲ英米諸國ヨリ三萬圓ヲ輸入スルニ至レリ、

椎茸　本品ノ主ナル產地ハ、日向、豐後、紀伊、伊勢、駿河、三河、遠江、伊豆等ニシテ、就中日向、豐後ノ產額最多キニ居レリ、支

那ニ於テモ金州、廣東ノ地方ニ産スルモ、我ガ邦ヨリ上海、漢口及廣東等ニ輸出スルモノ十五六萬圓ニ及ビ、全産額ノ四分ノ一ヲ占ム、ソノ他英領香港、北米合衆國、英領印度ニ輸出セリ、輸出椎蕈ニ二種アリ、一ヲ冬菇（トンコ）又ハ木干トイヒ、一ヲ香信トイフ、香信トハ通常椎蕈ト稱スルモノ是ナリ、駿、遠、參、豆、四州ノ産ハ横濱港ヨリ輸出シ、紀、勢二州及九州産ハ大阪、神戸兩港ヨリシ、九州産ハ長崎港ヨリス、

竹　ハ東洋ノ特産品ニシテ、世界中英領印度ニ最多ク繁茂シ、家屋ソノ他器具ニ用ヒラル、本邦ニ於テハ關西ニ多ク殊ニ南部氣候溫暖ナル地方ニ多シ、九州ニ於テハ山林ノ三分許ハ竹林ナリ、コレヨリ北ニ進メバソノ數ヲ減ジ、岩代以北ニハ殆ド竹林ヲ見ザルホドニシテ、ソノ趣恰甘蔗ニ同ジトス、奥羽地方ニハ只（ツ）籠（ラ）又ハ行李ノ原料ニ充ツルスベタケノイヘル一種アルノミ、竹ニ苦竹、淡竹、黑竹、虎班竹、女竹、五三竹等アリ、上等品ノ産地ハ、備前、備中、中等品ハ豊後、長門、伊豫、播磨、淡路等ニシテ、紀州産ハ劣等ニ屬ス、黑竹ハ土佐産ヲ主トシ品質優等ナリ、コレニ次グヲ廣島近傍、讃岐、伊豫トス、九州南部及臺灣ニ産スル江南竹ハ、甚巨大ナルガ故ニ盆、箱ニ造ルベシ、淡竹ハ釣竿、杖等ニ使用セラレ、ソノ根鞭ハ額縁、棚ニ用井ラレ、又外國人ハ之レヲ鞭トナスヲ以テ輸出多シ、女竹ハ安房及箱根ニ産シ、團扇、烟管用トシテ東京ニ仕向ケリ、實竹ハ陸前ノ松嶋、渡島ノ竹島ニ産シ、印材及杖トス、若竹ハ關西地方ニ産ス、山城國葛野郡八幡産ノモノハ電燈用ニ供セラルヽヲ以テ、外國ニ輸出セラル、竹ハ孰レモ燒竹即鬱甲竹及染竹トシテ、工藝品ニ用ユルヲ以テソノ需要頗多シ、英國、香港、北米合衆國、佛、獨諸國ヘ輸出スル額年々三十萬圓ニ及

ベリ殊ニ、米國ニ輸入セラルヽ竹材ハ本邦産ヲ以テ最多シトス、ソノ他ハ支那、印度、新嘉坡ノ産ナリ、

要スルニ山林ハ氣候ヲ調和シ、土砂ヲ扞止シ、風潮除ト ナリ、或ハ風致ヲ添ヘ、又水氣ヲ貯ヘテ河川ノ水源ヲ涵養シ、ソノ材ハ家屋船艦ヨリ器具ニ至ルマデ使用セラレ、或ハ薪炭料トナリ或ハ諸種ノ副産物ヲ産スル等吾人ニ利益ヲ與フルコト少々ニアラザルナリ、維新前ニアリテハ、山林ノ肥料ハ人血ナリトイヘル諺アリシガ如ク、各藩ノ林制非常ニ嚴酷ニシテ、森林ヲ愛護シ、有用ノ樹木ヲ保存シ、留山、建山、控山、見繼山、拜領山等ノ階級ヲ設ケ、山奉行、山目附、山廻、山守等ノ山林官ヲ置キテ林政ヲ司ラシメ、御用木又ハ御留木トイフヲ定メ、嚴ニソノ伐木ヲ禁ゼリ、然ルニ維新前後ニ至リテ不幸ニシテソノ濫伐ヲ見シモ、現今我ガ政府獨逸等ノ林制ニ倣ヒ、

コレヲ保護セリ、蓋山林ハ國家經濟上至大ナル影響ヲ與フルモノナレバナリ、

(丙)牧畜業

歐米諸國ニアリテハ、畜類ヲ日常重要ノ食物トシ、ソノ毛皮ヲ以テ衣服及種々ノ工作用ニ供ズルヲ以テ、ソノ飼育ハ到ル處ニ盛ナリトイヘドモ、我ガ邦ニアリテハ、コレヲ飼育スルノ目的、古來主トシテ耕耘及運搬ニアリシガ故ニ牧畜業ノ幼稚ナリシヲ免レザルナリ、然ルニ近年我ガ邦ニ於テモ西洋各國ト同ジク、益ソノ必要ヲ感ジタレバ或ハ牧場ヲ設ケ、或ハ外國種ヲ移シテ、ソノ飼育法ノ改善ヲ謀ルニ至レリ、サレドモ現今牧畜業中稍盛ナリト稱セラルヽモノハ、獨牛馬豚ノ三種ニ過ギザルベシ、牛ハ中國、四國、九州、沖繩、臺灣ニ多ク、馬ハ東北地方、十州、九州南部ニ多ク、豚ハ沖繩及九州南

部ニ多シトス、又牧場ノ數ハ四百餘ニ上リ、ソノ面積ハ十萬町歩即六十方里ヲ占ム、

牛　本邦ニテ牧牛ノ盛ナルハ、岡山縣ノ九萬頭ヲ第一トシ、全數ノ凡十四分ノ一ニ當ル、廣島、兵庫ノ八萬頭コレニ次ギ、鹿兒島、大分、長崎、山口、島根、熊本、又コレニ次ギ、各五萬頭以上アリ、ソノ種類ニハ本邦種、英國（エイルシヤイア及デボンシヤイア）獨逸（ホールスタイン種重ニ乳牛用）ノ外國種、及雜種アレドモ、概スルニ本邦種多シ、但馬、伯耆、出雲、安藝ノ産ハ良種ト唱ヘラレ、神戸ヘ輸送シテ神戸牛ノ名アリ、

馬　ニモ本邦種、英國純血種、亞剌比亞種ノ外國種及雜種ノ三類アリテ、牧場ニハ北海道ニ眞駒内、七飯ノ種畜場及新冠御料牧馬場アリ、又陸中ノ三本木、陸前ノ鍛冶谷澤、播磨ノ青野、薩摩ノ谿山ニ軍馬育成所アリ、陸奥ノ七戸（奥羽種馬牧場）、陸中ノ澁澤（岩手種馬所）、陸前ノ大崎（宮城種馬所）、ニ種馬所アリテ盛ニ馬匹ノ飼育ヲ謀レリ、全國馬匹ノ總數ハ百六十萬頭アリテ、鹿兒島縣最多ク、次ハ岩手、熊本ニシテ孰モ十萬頭以上ヲ産ス、次ハ宮崎、青森、秋田、宮城、茨城、栃木、長野、北海道、大分ニシテ皆五萬頭以上ノ産地ナリ、

豚　ハソノ數少ナク、十萬餘頭ニ過ギズ、鹿兒島縣最多ク、次ハ沖繩、千葉、長崎、宮崎等ナリ、ソノ肉脂ハ食料トナリ、ソノ毛ヲ以テ工藝用ニ供ズベシ、

羊　ニハ、メリノ、アルパカ、カシユミア及アンゴラ等ノ種類アリテ世界各地コレヲ飼育シテ織物ノ原料トセリ、濠州ビクトリア州、ケープコロニー、獨逸、西班牙、アージエンチン諸國ハソノ有名ナル産地ナリ、我ガ邦ニ於ケル牧羊業ハ、明治七年大久保内務卿始メテ米國ヨリ、サウスダウン、メリノ

等ノ諸種ノ綿羊ヲ輸入シ飼畜場ヲ下總國三里塚ニ置キ、漸次諸地方ニソノ蕃殖ヲ試ミントセシモ、内務卿ノ薨ゼシ後ハ、該業ノ發達ヲ謀ルモノナク、年々衰微セリ、ソノ後支那羊及蒙古羊等ヲ輸入シテ飼畜セシモ、元來支那種ハ山獸ヨリ家畜ニ移サレ年月淺キヲ以テ飼養法發達セズ、ソノ羊毛ハ大小混合雜生シテ、所謂綿毛ナルモノヲ生ジテ品質宜カラザルナリ、米國ニテハソノ後メリノ、サウスダウン、ラスター、リンコルン等ノ羊種ヲ寒暖ノ兩地ニ移シ、ソノ生産地ノ氣候ニ應ジテコレガ飼養ヲ試ミタルニ、寒地ノモノハ暖地ノモノヨリモ、ソノ毛短クシテ緻密光澤アリテ彈力强ク、良毛タルノ結果ヲ得タレバ、我ガ邦ニ於テモ適スベキナリ、サレドモ前述ノ如ク我ガ羊毛業ハ年々衰微セルヲ以テ、目下外國輸入品ヲ使用スルヿ多キヲ加ヘ、一ケ年ノ需要凡三百萬

斤ニ及ベリ、

鷄　ノ産地ハ世界中佛國ヲ推セドモ、我ガ邦ニ於テ、最多ク産スル地方ハ、千葉、埼玉、兵庫、茨城ナリ、近年各地ニ於テ盛ニ洋鷄ヲ飼養シ家禽中ソノ數最多ク一千萬ニ及ベドモ、ソノ産卵ハ内地ノ需要ニ充ツルニ足ラズシテ、毎年清國上海等ヨリ輸入スルコト少カラズ、

蜜蜂　古來關西地方ニ於テ多少コレヲ飼養セシガ、未充分ノ結果ヲ得ル能ハザルナリ、蜂蜜トイヘル糖分及蜜蠟トイヘル脂料ハ蜜蜂ヨリ得ルモノニシテ、歐洲ニ於テハ盛ニコレヲ飼養セリ、

蠶　支那ハ養蠶業ヲ以テ宇内ニ雄飛シ、浙江、江蘇ハソノ養蠶二大省ト呼バル、本邦、伊太利、佛蘭西コレニ次ゲリ、我ガ邦ノ蠶ニ家蠶、天蠶、柞蠶ノ三種アリ、就中家蠶ハ到ル處養ハ

ル、モ、天蠶及柞蠶ハ北海道、長野等ニ養フニ止マリテ、ソノ敷至テ少シトス、元來我ガ邦ハ土質桑ノ栽培ニ適シ、氣候養蠶ニ宜シク、人民ソノ業ニ慣熟セルヲ以テ、蠶業ハ我ガ一大富源トナリ、生絲ハ輸出重要品ノ第一位ヲ占メ、主トシテ北米合衆國ニ輸出セラルル、又コレヨリ製セシ絹織物モ年々外國ヘ五六百萬圓輸出セラルヽニ至レリ、

桑畑ハ全國三十萬町歩アリテ、東山道最多ヲ占ム、福島縣ノ二萬九千町歩第一ニ居リ、次ハ群馬、長野、埼玉(二萬町歩以上)ニシテ、次ハ山梨、岐阜、茨城、山形(一萬町歩以上)ナリ、養蠶地ハ福島、群馬、長野三縣ヲ推ス、即東山道ヲ第一トシ、東海、北陸、畿内コレニ亞ギ、中國、四國、九州ハ近時ノ創業ニ係リ盛ナラズ、繭(繭、玉繭屑繭、出蠒ノ四種)ノ全産額ハ二百餘萬石アリテ、就中十萬石以上ヲ産スル地方ヲ、長野、群馬、埼玉、岐阜、福島トナス、繭ノ形狀ハ伊太利、佛蘭西ノ各國皆圓形ナルニ、我ガ邦ノモノハ瓢簞形ヲナシ、色モ彼レハ金光色ヲ呈シ、我レハ白色ヲナス、ヨリテコレヨリ製スル生絲ノ色彼我黃白ノ區別ヲナセリ、蠶卵紙ノ産額ハ凡四百萬枚ニ及ビ、ソノ主要ナル産地ヲ長野(百萬枚以上)、福島、群馬、滋賀、埼玉、山形(十萬枚以上)トス、眞綿ノ重ナル産地ハ滋賀、長野、福島、群馬、岐阜、山形ニシテ全國六萬貫ヲ産ス、

(丁)水産業

本邦ハ四面海ヲ以テ圍繞セル島國ナレバ、水産業頗發達シ、二百萬ノ漁人ガコレニ從事シ、年々五千餘萬圓ノ收益アラシム、殊ニ北海道ハ北亞米利加ノ東北海岸及那威ノ西海岸

ト共ニ、世界ノ三大漁場ト稱セラレ、ソノ産額極メテ夥シ、魚介類ニハ鹹水ニ鰊、鰮、鰹、鯛、鮪、鰕、鯖、鰈、鱈、鮃、牡蠣、蟹、鮹アリ、淡水ニ鮭、鮎アリ、海藻類ニ昆布、裙帶菜(ワカメ)、黑菜(アラメ)、石花菜(トコロテン)アリ、海獸ニ鯨、海豹、臘虎アリ、今コレヲ生物、鹽物、乾物、肥料、雜用品ニ區別スレバ、ソノ名稱左ノ如シ、

(一)生物類

生物類ニテ百萬圓以上ノ收益アル地方ハ、千葉、山口、長崎、靜岡、高知、神奈川、茨城、三重、新潟、兵庫、岡山ニシテ總産額三千萬圓ニ達ス、ソノ種類左ノ如シ、

鰮　鰹　鯛　烏賊　鮪　鯖　鰤　鰕　鮭　鮎　鮑
鱶　石花菜　鰊　鱈　海鼠　牡蠣　鱒　蛤　昆布
貽貝　鮑　鰈　鰆　鯔　鮹　鰻　鯨　鱧　鮃
鰭　鱅　鮒　秋刀魚　鱸　黑鯛　鯉　文鰩魚　鮒

王餘魚　鮒

(二)鹽物類

鮭　鯖　鯽　鰮　鮪　鱈

(三)乾物類

鰹節　鯣　煮乾鰮　昆布　鰕　寒天　鰮　海苔
鱈　鮑　鮪　田作　海參　鱶鰭　海蘿　石花菜
淡菜　貝柱

(四)肥料

鰊鰮ノ搾粕　笹目胴鰊　乾鰮

(五)雜用品

魚油　魚蠟　貝殼　眞珠　珊瑚

外國ヘノ輸出品ニハ昆布、鯣、乾鮑、海參、鱶鰭、貝柱、鰕ヲ主ナルモノトシ、ソノ他田作、鱈、鮭、淡菜等アリテ、一ケ年ノ輸出額百

萬圓以上ニ及ベリ、

鰒　生鰒ハ千葉縣(九十九里濱)ノ七百餘萬貫ヲ以テ第一トシ、次ハ富山(四百萬貫)茨城、長崎、山口(二百萬貫)愛知、青森、愛媛、兵庫、石川、新潟(百萬貫)ニシテ、全國ノ産額三千八百萬貫アリ、ソノ捕獲數量ノ夥シキコトハ、水産物中第一ヲ占メ、漁期ニハ各産地山ヲ築クニ至ル、鹽鰒ノ産額ハ百八十萬貫ニ達シ、福井、長崎、愛知、茨城、大分ハソノ主産地ナリ、乾鰒ハ全國二百萬貫ノ産額アリテ、富山縣ノ七十五萬貫第一ニ居リ、茨城(三十餘萬貫)和歌山、島根(十萬貫)コレニ次グ、肥料トシテハ鯡ト共ニ三千五百萬餘貫アリテ北海道、千葉縣共ニソノ十分ノ一ニ當リテ首位ヲ占メ、茨城、長崎、愛知、青森、山口、富山、靜岡ハソノ次タリ、

鰹　生鰹ノ主産地ハ千葉、靜岡、高知ニシテ百萬貫以上ヲ産ス、節トシテハ鹿兒島、茨城、靜岡、長崎、千葉、高知最多ク、十萬貫以上ノ産アリ、就中良品ト稱セラルヽモノハ、土佐節及伊豆ノ島節コレナリ、又近年宮城、岩手兩縣ニ於テ、鮪節ノ製造盛大トナリ、鰹節ト頡抗スルニ至ル、

鯛　ハ主トシテ中國、四國、九州ニ多ク、東海道地方コレニ次ゲリ、就中山口ノ七十萬貫ヲ以テ第一トシ、次ハ廣嶋、大分、福岡諸地方ナリ、

鰻　一番鰻、二番鰻、甲付鰻ノ別アリ、皆鳥賊ヲ乾燥セシモノニシテ、新潟、長崎、島根、岩手、大分各十萬貫以上ヲ産ス、年々香港、支那等ヘ輸出スルコト百萬圓以上ニ及ベリ、鳥賊ハ岩手、新潟ニ最多ク百萬貫以上ノ産アリ、

鮑　明鮑ハ房總地方ノ産著シク、灰鮑ハ北海道、三陸地方名アリ、共ニ鮑ヲ乾燥セシモノニシテ、香港、支那等ヘ年々四十萬圓ノ輸出アリ、ソノ介殻モ亦輸入セラル、即岩手、富山ハ

貫以上ノ産アリ、就中良品ト稱セラルヽモノハ、土佐節及伊豆ノ島節コレナリ、又近年宮城、岩手兩縣ニ於テ、鮪節ノ製造盛大トナリ、鰹節ト頡抗スルニ至ル、

鯛　ハ主トシテ中國、四國、九州ニ多ク、東海道地方コレニ次ゲリ、就中山口ノ七十萬貫ヲ以テ第一トシ、次ハ廣嶋、大分、福岡諸地方ナリ、

鰻　一番鰻、二番鰻、甲付鰻ノ別アリ、皆鳥賊ヲ乾燥セシモノニシテ、新潟、長崎、島根、岩手、大分各十萬貫以上ヲ産ス、年々香港、支那等ヘ輸出スルコト百萬圓以上ニ及ベリ、鳥賊ハ岩手、新潟ニ最多ク百萬貫以上ノ産アリ、

鮑　明鮑ハ房總地方ノ産著シク、灰鮑ハ北海道、三陸地方名アリ、共ニ鮑ヲ乾燥セシモノニシテ、香港、支那等ヘ年々四十萬圓ノ輸出アリ、ソノ介殻モ亦輸入セラル、即岩手、富山ハ

乾鮑ノ主産地ニシテ岩手、青森ハ鮑ノ主産地ナリ、

海參　ハ北海道、三陸地方ニ多シ、有刺ハ全國到ル所産ス

レドモ、無刺ハ小笠原、臺灣、琉球諸島ノ近海ニ多シ、支那、香港

へ年々三四十萬ヲ輸出ス、

鮭　太平洋沿岸ニテハ下總以北ニ産シ、日本海ニテハ石

見以北ノ河流ニ産セリ、コレヲ鹽引トシ或ハ鑵詰トス、殊ニ

品位ト風味ノ佳良ナルヲ以テ供膳魚トシテ世ニ珍重セラ

ル、北海道及岩手ハソノ收獲多量ニシテ本邦ニ冠タリ、

鰊　ハ北緯三十九度以南ノ海氷ニハ、全クコレヲ産セズ、

大平洋ニテハ親潮流ニ限リ、日本海ニテハ秋田以北ニ産ス、

殊ニ北海道ハソノ主産地ニシテ、コレヲ食料及肥料トシテ

各地ニ輸送セリ、青森、秋田、新潟マタ著ハル、

昆布　ハ北海道ノ特産物ニシテ全國ノ産額ノ九割ヲ占

ム、内地ニハ三陸地方ニ多少コレヲ産スルノミ、ソノ種類ニ

ハ長切、元揃、細目、折、花折等アリ、嘉永、安政ノ頃ヨリ長崎御用

物ト稱シテ支那ヘ輸出シ、近年ソノ額百萬圓以上ニ達セリ、

海苔　ハ全國到ル所ニ産スルモ、淺草海苔ヲ以テ第一ノ

良品トス、宮城、岩手、熊本マタソノ産アリ、

寒天　天草ハソノ原料ニシテ、各地ノ沿海コレヲ産セリ、

就中伊豆ノ産ヲ最良トシ紀伊、安房、伊豫、豐後、土佐、北海道ノ

モノコレニ次グ、天草ノ外ニ佐渡及南部ニ産スル礙草ヲ混

入シテ製セリ寒天ハ攝津ノ三島、豐能ヲ推シ、全産額ノ過半

ヲ占ム、長野、京都府、兵庫縣コレニ次ギ、支那等ヘ六七十萬圓

ノ輸出アリ、

珊瑚及眞珠　共ニ裝飾品ニ用ヒラレ、紅珊瑚ハ土佐ヲ最

良トシ、白珊瑚ハ因幡ノ浦留ヲ推ス、眞珠ハ志摩、薩摩ノ近海

ニ産ス、

魚油　北海道ハ全産額ノ九割ニ當リテ有名ナル産地ナリ、從來內地ニ於テ點燈及肥料用トシテ用ヒシガ、現今ソノ粗製品ハ石鹼、靴墨、ペンキ等ノ原料トシ、精製品ハ器械、鞣革、鑄造、蠟燭製造又ハ藥用等ニ供ズルガ爲ニ外國ニ於テソノ需要年々增加シ、獨逸、白耳義等ヘ五六十萬圓ヲ輸出ス、尙前途有望ナリトイフ、

鯨　ハ北海道、肥前、長門、紀伊、土佐近海ニ多ク、臘虎、海豹ノ如キ海獸ハ千島近海ニ產ジ、ソノ毛皮ハ敷物ニ供ゼラレ價頗貴シ、

製鹽業　我ガ邦ニ於テ使用スル食鹽ハ海水ヨリ採リ、山鹽ハ岩代ニ少額ヲ產スルノミニシテ、沿海ノ地方ハ率多少食鹽ヲ產セザルノ地ナシトイヘドモ、本邦中ソノ巨額ヲ產スルノ地ハ、氣候溫暖、降雨稀少、且沿岸遠淺ナル瀨戶內海ヲ以テ第一トス、就中周防、長門ノ兩國ハ、鹽田千餘町アリテ本邦鹽田ノ七分ノ一ニ當リ、マタ食鹽ノ產額ハ百餘萬石ニ達シ、全產額ノ六分ノ一ヲ占メ、全國中コレニ比肩スルモノナシ、讃岐、播磨、三備、安藝、伊豫、阿波コレニ次ギ、五十萬石以上ノ產アリ、以上ノ國々ヲ十州鹽田地方トイフ、大分、福岡、熊本、愛知、石川ノ諸縣モ亦各十萬石以上ヲ出ス、臺灣ノ西岸モ亦鹽ノ產地ナリ、

赤穗及齋田ノ產ハ良鹽ナリ以テ著ハレ、從來本邦需要ノ食鹽ハ皆コレヲ使用シ來リシガ、近年獨逸鹽ヲ輸入シテ醬油ノ釀造等ニ用ユルニ至レリ、蓋獨逸鹽ハ一升ノ量目四百七十匁ナレドモ、赤穗鹽ハ僅ニ三百六七十匁ニ過ギズ、又ソノ品質ノ如キモ赤穗鹽ハ獨逸鹽ニ比スレバ劣等ニシテ水分、苦

汁ヲ含ムコト多ケレバナリ、

要スルニ海水ノ生産力ハ實ニ偉大ナルモノニシテ、海利ヲ收ムルノ方法宜シキヲ得ル時ハ陸地ノ生産力ヨリハ却テ優レルモノナリ、我ガ邦ハ大平洋ノ西北ニ位セル四面環海ノ島國ナレバ、ソノ位置既ニ海産ニ富ミ、實際ニ於テモソノ收獲夥シトス、然ルニ維新前マデハ海ヲ利用スルコト極メテ斟ク、爲ニ從來水産業ハ幼稚ナルコトヲ免レザリシナリ、今ハ本邦各種ノ事業ノ發達ニ伴ヒ、該業モ俄ニ進ミテ五千萬有餘圓ノ洪利ヲ得ルニ至リ、重要輸出品中大ニ勢力ヲ占ムルノミナラズ、本邦富源ノ一トナレリ、

(戊)鑛業

我ガ邦ニ産スル重要ナル鑛物ニハ、金、銀、銅、鉛、鐵、硫化鐵、安質母尼、滿俺、黑鉛、硫黃、石炭、石油ノ十二種アリ、ソノ他蠟石、大理石、水晶、陶土、明礬、雲母、石綿、石灰石、瑪瑙モ亦頗多シ、

コレ金屬ニテハ銅最多ク、次ハ銀、次ハ金ナリ、非金屬ニテハ石炭ハソノ首位ニ居リ、硫黃コレニ次グ、以上ヲ我ガ五大鑛産物トイフ、

要スルニ國ノ貧富强弱ハ、工業ノ發達スルト、發達セザルトニヨリテ、變動セラルヽモノナリ、石炭及鐵ハ工業ヲ進歩セシムルモノナレバ、文明ノ母ト稱セラルヽモ亦宜ナルカナ、然ルニ本邦ニテハ石炭ニ富ムトイヘドモ、鐵ノ産額少ク、外國ヨリコレヲ輸入スルハ遺憾ニ堪ヘザル所ナリ、(ソノ他ハ前章天産ノ部ヲ參照スベシ)、

(己)工業

工業トハ以上ニ述ベタル諸種ノ天然産物ニ人工ヲ加フルコトヲイフ、コレニ二種アリ、一ヲ手工又ハ小工業トイヒ、一

ヲ製造又ハ大工業トイフ、我ガ邦ノ重要ナル工産物ニハ蠶絲、綿絲、織物、燐寸、陶磁器、玻璃器、竹木器、金屬器、麥稈眞田、美術品、花筵等アリ、

蠶絲　蠶絲ニ生絲及屑絲アリ、屑絲ニ慰斗絲及玉絲アリ、全國ノ産額二百餘萬貫ニ及ビ、外國重ニ北米合衆國等ヘ輸出セラルヽモノ、六千萬圓アリテ、輸出重要品ノ第一位ヲ占ムルホドナレバ、該業ハ我ガ邦ニ於ケル重要ナル生産物ナリ、群馬、長野兩縣ハ共ニ三十餘萬貫即全産額ノ七分ノ一ヲ占ム次ニ山梨、福島、埼玉（拾萬貫以上）岐阜、東京、新潟、山形、愛知（五萬貫以上）アリ、即本邦ノ蠶絲業ハ東國地方ニ盛ナルコトヲ知ルベシ、

綿絲　我ガ邦ノ綿絲業ハ、慶應二年島津氏ソノ器械ヲ鹿兒島ニ据附ケシヲ初トシ、明治二十二年以後稍ソノ進歩ヲ見ルニ至リ、コレヨリ年々ソノ産額ヲ增加シ、現今三千餘萬

貫ニ上リ、錘數モ亦百餘萬ニ及ブニ至レリ、ソノ進歩實ニ驚クベキナリ、該業ノ盛大ナル地方ハ大阪府ヲ第一トシ、凡二十ノ會社アリ、岡山コレニ次グ、紡績所中百萬貫以上ヲ出セルハ、鐘ケ淵、攝津、大阪、三重、平野、尼崎ナリ、輸出ハ一ケ年凡三十萬梱、價二千八百萬圓ニシテ、清國、韓國、南洋ニ仕向ケリ、コレガ原料タル綿花ハ、內地産ノ外ニ英領印度、清國、北米合衆國ノモノ、凡五千萬圓ヲ仰ゲリ、

織物　織物ニ絹織、絹綿交織、綿織及麻織、毛織等アリ、

（イ）絹織　京都ノ西陣ハ我ガ邦ニ於ケル絹織開始ノ地ニシテ、コノ地ヨリ出ス織物ノ品質及染色ノ精巧ナルト、ソノ産出ノ多キコトハ本邦ニ冠タリ、コレニ次ゲルヲ上野（桐生、伊勢崎）トシ、百萬反以上ヲ産ス、羽二重類ハ千七百萬圓ニ達シ、ソノ全額ノ四分ノ一ニ當リ、縮緬類、女帶地ハ共ニ七百萬

圓ニシテ、コレニ次ゲリ、

紋織（繻珍、緞子、金襴等）　京都、桐生、
白縮緬　京都、桐生峰山、岐阜、長濱、
御召縮緬　京都、桐生、足利、
羽二重　福井、桐生、
博多帶地　博多、八王子、
絽、琥珀織　桐生、京都、
畝織、畦織　秋田、
黑八丈、縞八丈　八王子、
黃八丈　八丈島、秋田、
海氣　甲斐、
白斜子　武藏、岩代、陸中、越前、
縞斜子　信濃、

平織　仙臺、五泉、村上、
一樂織、八端織、綾織　八王子、
八橋織　仙臺、
絲織　米澤、
紬類　栃尾、上田、琉球、結城、
奉書紬　福井、
透織　十日町、米澤、
秩父織　秩父、
節絲織　米澤、八王子、
山繭織　廣島、

本邦ヨリ海外ニ輸出スル絹織物ノ第一ハ羽二重（七八十萬段千二百萬圓）ニシテ、絹織物類輸出額ノ九割ヲ占有シ、年々增加ノ傾アリ、コレソノ價額ノ低廉ニシテ實用ニ適スルコトヽ、海外ニ於ケ

ル新販路ヲ擴張シタルトノ二者ニ職由スルモノナリ、次ハ甲斐絹(六十萬圓)ニシテ、次ハ縮緬、繻子、琥珀、一樂、斜子、薄絹等トス、

絹綿交織　千餘萬圓ノ歲額中、絲入縞絣木綿、女帶地ハ各百萬圓以上ヲ產ス、ソノ他絲入二子木綿、絹綿縮緬、絹綿紋織等アリ、ソノ主產地ハ桐生、西陣、足利、八王子等ニシテ、足利ヨリハ近年斬新ノ品ヲ出セリ、

(ロ)綿織　四千萬圓ノ歲額アリ、生木綿、女帶地(八百萬圓)、縞木綿、綿フランヂル(共ニ百萬圓)、男帶地(五百萬圓)、絣木綿(四百萬圓)最多シ、

生木綿及晒木綿　ハ歲額一千萬圓ニ及ビ足利、眞岡ヲ最上等品トス、ソノ外河內、大和、和泉、伯耆、播磨、尾張、三河等皆名アリ、河內、大和產ハ韓國ニ輸出セラルヽコト多シ、

縞木綿　常陸、下總最多ク、久留米縞、伊豫縞、伊勢縞、龜崎縞、日野物產縞等コレニ次ギ、七百萬圓ノ產額アリ、

ソノ他兵庫、大阪、石川縣ノ帆木綿、大阪、岡山ノ雲齋織、茨城、長野ノ足袋底地、京都ノ紺小倉、三重、和歌山ノ縞小倉、東京、栃木、山口、奈良ノ白綾小倉マタ名アリ、

綿フランヂル　ハ紀伊ノ和歌山ヲ以テ第一トシ、大阪、京都コレニツギテ、一ケ年七百餘萬圓ノ產額アリ、外國ニ輸出セラルヽモノモ亦尠カラズ、

絣木綿　薩摩絣ハ一ニ琉球絣ト稱セラレ、琉球及薩摩ニ產シ最佳品タリ、久留米、伊豫、倉岡、大和、村山、所澤、佐々ノ諸絣マタ著ハル、總テ一ケ年四百萬圓ヲ產ス、

二子木綿　東京、愛知、埼玉、岐阜等ハ二子木綿ノ主產地ニシテ、二百萬圓ノ產アリ、

縮木綿　足利及相馬ハ白無地縮ヲ產シ、岩國、銚子、波崎、及大垣ハ紺縮ヲ產シ、博多、甘木、鳴海及有松ハ絞ヲ產ス、卽古ノ

額ナリ

(ハ)麻織　麻織ニテハ生麻布(百万圓)最多ク、ソノ他蚊帳地、麻帆布、ズック、晒麻布、上布ノ類アリ、合シテ一ケ年ノ産額四百萬圓ニ及ベリ、ソノ材料ハ大麻、苧麻、亞麻、ラミー、黃麻等ニシテ、就中本邦ニハ大麻最夥ク、佐野ノ産名アリ、亞麻ハ北海道ニ産ス、近年外國ヨリ麻苧類及麻織絲ヲ輸入スルコト百二三十萬圓ニ及ベリ、

麻布　生麻布及晒麻布ハ奈良、滋賀、石川最名アリ、ズックハ奈良及麻帆布ハ、滋賀ニ産ス、

上布　沖繩及鹿兒島産ノ上布ハ、世ニ薩摩上布ト呼バレテ世ニ著ハル、マタ越後上布能登縮等アリ、

蚊帳地　滋賀、福井、富山ハ蚊帳地ノ主産地ナリ、廣島、山口マタソノ産アリ、

(ニ)毛織　本邦羊毛ノ産額少キヲ以テ、濠洲、獨逸、清國等ヨリ三百萬圓ノ羊毛ヲ輸入シテ、ソノ製織ニ從事スルガ故ニ該業ハ未盛ナラズ、只陸軍省ノ管轄ナル千住製絨所ノ一ケ所アルノミ、

氈通　ハ堺ヲ以テ第一トシ、京都、兵庫、福岡又名アリ、外國ヘ輸入スルモノ百餘萬圓ニ上レリ、

地蓆　備後、琉球、莫蘆ノ三種アリテ三備及豐後ハ最名高ク、ソノ他ノ産地ニハ、廣島、靜岡、福岡、鹿兒島等アリテ年々米國等ヘ百餘圓ヲ輸出ス、

麥稈眞田　清國ハ東洋ニ於テ麥稈眞田ノ産出國ヲ以テ著ハレ、萊州、武定ハソノ主産地ニシテ、四百餘萬斤ヲ産ス、ソノ質佳良本邦産ノ如ク脆弱ナラズ、恰伊太利産ノ如キヲ以テ、ロンドン市場ニ於テ好評ヲ博シ、且ソノ價額ノ低廉ナル

ヨリ歐洲産モコレニ壓倒セラレントセリ、ソノ製品ノ精巧ナルコトハ本邦ノモノニ及バザルモ、價額ノ低廉ナルト、品質ノ佳良ナルコトハ本邦品ニ勝ルベシ、我ガ國ニテハ岡山縣ノ笠岡、玉島ヲ第一ノ産地トシ、愛知、靜岡コレニ次ゲリ、帽子製造ノ原料トシテ外國ヘ輸出スルコト、二百萬圓ニ達セリ、

摺附木　全國六百萬圓ノ産出アリテ、ソノ製造年々增加セリ、神戸、大阪ヲ以テソノ主産地トナス、兵庫縣ノ産額ハ三四百萬圓ニ及ビ、大阪府ノ凡三倍ニ當リ、全國ノ過半ヲ占ム、東京コレニ次ギ、伊豫マタコレニ次ゲリ、抑本邦ニ於ケル該製造ノ嚆矢ハ明治三年ニシテ、神戸ハ十年、大阪ハ十一年ニソノ業ヲ創メシモノナリ、現今瑞典ジヨンキエピング製ナドヲ凌ギテ、汎ク世界各地ニ販賣セリ、就中英領香港、上海、シンガポール、ボンベー、天津ニ仕向クルモノヲ最多シトス、ソノ種類ハ安全摺附木及黃燐製ノ二種アリ、マタソノ材料トスル軸木ハ北海道並東北地方ヨリセリ、

陶器及磁器等　陶磁器ノ有名ナル産地ハ愛知（瀨戶燒百五十萬圓）、岐阜（美濃燒百餘萬圓）、佐賀（唐津及有田燒五十萬圓）、京都（清水燒三十萬圓）、石川（九谷燒）、福島（相馬及會津燒）、兵庫（出石及舞子燒）、愛媛（砥部燒）、長崎（大河內及三河內燒以上ハ十萬圓以上）ノ諸縣ニシテ、年々五百萬圓ヲ產出シ、北米合衆國、英國、清國、佛國等ヘ輸出スルモノ、百萬圓ニ上リ、ソノ名聲海外ニ聶ケリ、外國向ノモノハ清水、美濃（土岐、多治見燒）瀨戶、有田、九谷ノ諸品最多キニ居ル、七寶燒ハ東京、京都、愛知ヲ推シ、靑銅器及銅器ハ京都、高岡ノ特產ニシテ、玻璃器ハ近年非常ノ進步ヲナシテ、外國品ノ輸入ヲ防止セシノミナラズ、東洋ニ於テ外國品ヲ壓倒スルニ至レリ、東京、大阪、京都ハソノ主產地ナリ、鐵器ハ大阪、南部、會津ニ產ス、

漆器　和歌山縣ノ紀州塗（八十萬圓）ヲ第一トシ、全國ノ五分ノ一ヲ占ム、京都、石川（山中塗）、靜岡（駿府塗）、神奈川（鎌倉塗）、福島（會津塗）、滋賀（大津）、大阪、富山（高岡塗）、愛知（名古屋塗）コレニ次ギ各十萬圓以上ヲ出ス、英、獨等ヘ年々百萬圓內外ヲ輸出スソノ他工業中ニハ抄紙、製革、扇子、洋傘、竹木器、セメント等アリ、

（戊）商業

商業ニ內國商業ト外國商業ノ二種類アリ、コレ生產業ヨリ生ゼル物品ヲ賣買交易スルヲイフナリ、商業ヲ助ケテ盛ナラシムルモノニハ、道路、鐵道、河川、湖沼等アリ、運送車、船舶、汽車、郵便、電信、電話等アリ、貨幣、銀行、取引所、會社等アリ、本邦中內國商業ノ盛ナル地ニハ、大阪、東京、京都ノ三府ヲ始トシ、名古屋、神戶、橫濱、廣島、金澤、長崎、仙臺、函館、熊本、德島、福岡、富山、岡山、鹿兒島、和歌山、新潟等アリ、

明治六年ノ頃本邦ニ於テ國立銀行（明治三年）及日本銀行（明治十五年）起レリ、ソノ後明治二十三年株式、合名、合資等ノ普通銀行設立セラレ、明治二十九年勸業及農工銀行起レリ、取引所ハ明治二十六年、商業會議所ハ明治二十三年ノ創立ナリトス、

外國貿易ハ近年非常ノ進步ヲナセリ、カノ隋唐交通ノ代唐物使アリテ漢土ノ物品ヲ輸入シ、博多ヲ以テソノ通商地トセリ、當時京都ハ內國商業ノ中心ニシテ商權ヲ左右セシナリ、後室町、織豐ノ代ニ及ビ諸外國トノ交通漸繁ヲ加ヘ、方ニ外國貿易ノ發達ヲ促サントセシガ、江戶幕府ノ代ニ至リテ我ガ邦鎖國主義ヲ採リ、長崎出島ニ於テ只和蘭及清國船トノ交易ヲ許スノミトナリシヨリ外國貿易頓ニ衰ヘリ、明治維

新後五箇ノ貿易地ヲ開キ、再コレヲ奬勵セシカバ、近年我ガ輸出額ハ輸入額ト相匹敵スルニ至レリ、實ニ國家ノ富强ヲ致スモノハ外國貿易ノ興カリテ力アルモノナレバ、我ガ國家ノ爲ニ賀スベキナリ、サレドモコレヲ詳細ニ伺ヘバ、我ガ外國貿易ノ本邦人ノ手ニヨリテナサルヽモノハ僅ニソノ十分ノ二三タルニ過キズシテ、他ハ外人ノ掌ル所タリ、コレヲ思ヘバ慨歎ニ堪エザルモノアリ、

輸出品價額ハ一ヶ年凡一億七千四百萬圓、輸出金銀貨及地金銀ハ六百萬圓ニシテ、輸入品價額ハ一億七千圓、輸入金銀貨及地金銀ハ二千萬圓ニ及べリ、左ニ輸出入重要品ヲ掲グ、

(一)輸出品

五千百餘萬圓

二千三百餘萬圓

生絲

綿織絲

千二百餘萬圓

九百餘萬圓

八百餘萬圓

四百餘萬圓

三百餘萬圓

二百餘萬圓

百餘萬圓

石炭　羽二重

茶　銅

米

摺附木

地蓆類　絹布手巾

麥稈眞田　綿布類

慰斗絲　磁器陶器類　樟腦

屑絲　鰑

洋傘　木材及板類　漆器

昆布　寒天　地氈類　椎蕈

硫黃　生蠟

繰綿

百萬圓以下五十萬圓以上

(二)輸入品

五千餘萬圓

千三百餘萬圓　砂糖
五百餘萬圓　石油　豆類　油糟
三百餘萬圓　綿織絲　縮緬吳呂　羊毛
二百餘萬圓　米
百餘萬圓　生金巾　乾藍　アルコール
鐵釘
丸角平鐵　羅紗　厚薄板鐵
麻苧類　硝玻璃片　塊鐵
砂時計
麥粉及穀粉　更紗　石炭
鋼筒鐵及管鐵　電線　アニリンダイス　紙巻烟草
綿繻子　板亞鉛　生綿　生

百萬圓以下五十萬圓以上

右ニ示セルガ如ク、我ガ邦ノ輸入品ハ工業物産ニ屬スルモノ多キヲ知ルベシ、マタコレヲ國別ニヨリテ示サバ左ノ如シ、

(一)輸出品額

六千餘萬圓　北米合衆國
四千餘萬圓　清國
三千餘萬圓　英領香港　佛蘭西
千餘萬圓　英吉利
六百餘萬圓　韓國　英領印度
三百餘萬圓　獨逸　伊太利
二百餘萬圓　露領亞細亞　英領亞米利加

牛皮　鐵道客車及貨車　印刷用紙　紡績機類

百　餘　萬　圓

百萬圓以下五十萬圓以上

(二)輸入品額

四千餘萬圓　濠州　布哇　墺地利　埃及　露西亞

三千餘萬圓　英吉利　英領印度

二千餘萬圓　北米合衆國

千　餘　萬　圓　清國　獨逸

七百餘萬圓　英領香港

五百餘萬圓　佛蘭西　白耳義

四百餘萬圓　韓國　露領亞細亞　佛蘭印度

二百餘萬圓　フヒリッピン群島

百　餘　萬　圓

百萬圓以下五十萬圓以上

我ガ邦ト諸外國ト相互貿易セル商品ノ重ナルモノヲ擧グレバ、左ノ如シ、

(一)輸出品

北米合衆國　生絲　茶　羽二重　絹布及絹手巾　麥稈眞田　扇類　陶磁器

濠洲　瑞西　蘭領印度　墺地利　和蘭　暹羅　埃及　清　國　地蔗　漆器　米　地氈　椎茸　樟腦　硫黃　鰑

綿布　綿織絲　石炭　摺附木

水產物　銅　洋傘　樟腦　硫酸

英領香港　清國ニ同ジ

佛蘭西　生絲　絹絲　絹手巾　羽二重
英吉利　米　銅　樟腦
韓國　米　麥稈眞田　銅　絹手巾　漆器　陶磁器　地氈　生絲　樟腦　屏風
伊太利　綿布　絹布　摺附木　綿織絲
獨逸　水產物
英領印度　石炭　摺附木　綿縮　銅　木器　樟腦
露領亞細亞　米　魚油　薄荷油　漆器　竹器　磁器　地氈　水產物　五倍子　生絲　美術品　地氈
米　綿布

英領亞米利加　茶　地蓆　米　生絲
濠洲　米　地蓆　絹布　陶磁器　水產物　地氈　樟腦
布哇　米　酒　絹布
墺地利　慰斗絲　米　工藝品
埃及　綿布
露西亞　米　織物　陶器　漆器
フヒリッピン群島　石炭　工藝品
瑞西　生絲
遲羅　玻璃器　摺附木

(二)輸入品

英吉利　棉絲　棉織絲　鐵鋼類　鐵道客車及貨車　諸器械　船舶　毛繻

英領印度　子　生金巾　巻烟草　天鵞絨
北米合衆國　玻璃器　更紗
清國　棉花　米　藍　砂糖　革
獨逸　石油　棉花　鐵　鹹肉　烟草
英領香港　麥粉　砂糖　材木
佛蘭西　棉花　砂糖　繰綿　大豆　油糟
米　麻苧類　羊毛　棉實　鷄卵
鐵板　鐵釘　鐵道軌　鹽　亞鉛
藥品　砂糖　麥酒　學術用品
諸器械　毛絲　羊毛　染料　羅
紗（フラヰル）　烟草
砂糖
縮緬　呉呂　繻子　葡萄酒（シヤ

白耳義　更紗（シバン）
韓國　鐵釘
米　大豆　牛皮　砂金　乾鰛
人參
フヒリピン群島　砂糖　麻苧類　煙草　藍　石油
濠洲　羊毛　牛角　砂糖
瑞西　秩時計
蘭領印度　石油　煙草
墺地利　器械　麥（麥酒ノ原料）
和蘭　器械　牛乳
遲羅　米
埃及　棉花
英領亞米利加　麥粉　材木

佛領印度

次ニマタ港別輸出入品額ヲ示スコト、左ノ如シ、

(一)輸出品額

一億八百餘萬圓　横濱
七千餘萬圓　神戸
六百餘萬圓　門司　大阪　長崎
四百餘萬圓　下ノ關　口ノ津
二百餘萬圓　函館

(二)輸入品額

一億二千餘萬圓　神戸
七千六百餘萬圓　横濱
千百餘萬圓　長崎
六百餘萬圓　大阪

米　棉花

百餘萬圓　函館　下ノ關

我ガ邦ニ於テ、コレ等ノ商品ヲ出入スル商港ニ普通貿易港、特別輸出入港、特別輸出港特別貿易港ノ四種アリ、

(一)普通貿易港

普通貿易港トハ、各國貿易ノ爲ニ船舶ノ出入及貨物ノ輸出入ヲ爲シ得ベキ港ヲイフ、六港アリ、

横濱　大阪　神戸　長崎　新潟　函館

(二)特別輸出入港

外國貿易ノ爲ニ、帝國臣民所有船舶ノ出入及貨物ノ輸出入ヲ爲シ得ベキ港ヲイフ、十一港アリ、

博多　唐津　口ノ津　敦賀　境　濱田　清水　四日市　七尾　三角　絲崎

(三)特別輸出港

帝國臣民ガ、米、麥、麥粉、石炭、硫黃ノ五品ヲ輸出シ得ベキ港ヲイフ、十港アリ、

下ノ關　博多　口ノ津　唐津　門司　三角　伏木
小樽　四日市　釧路　室蘭

(四)特別貿易港

韓國、露領亞細亞、清國トノ貿易ノ爲ニ、帝國臣民所有船舶ノ出入及貨物ノ積卸ヲ爲シ得ベキ港ヲイフ、十一港アリ、

(イ)韓國ニ限レルモノ、

嚴原　佐須奈　鹿見　下ノ關　宮津　伏木　小樽

(ロ)露領亞細亞ノ沿海州及薩哈嗹島ニ限レルモノ、

伏木　小樽

(ハ)露領亞細亞ノ浦鹽斯德港ニ限レルモノ、

宮津

(ニ)清國ニ限レルモノ、

那覇

六箇ノ普通貿易港及臺灣ニ各稅關ヲ置キテ、輸出入ニ關スル稅務ヲ掌ラシム、ソノ管轄區域左ノ如シ、

横濱(築地　本牧　屏風浦　館山　父島　清水　ノ出張所アリ)
陸前　盤城　常陸　下總　上總　安房　武藏　相模　伊豆　駿河　遠江　ノ十一箇國及小笠原嶋ノ沿岸、

大阪(四日市出張所アリ)
三河　尾張　伊勢　志摩　紀伊　和泉　攝津(西成郡以東)ノ七箇國ノ沿岸、

神戸(宮津ノ出張所アリ、下ノ關ノ出張所アリ、今治)

攝津(川邊郡以西)　播磨　備前　備中　備後　安藝　周防
長門　石見　出雲　伯耆　因幡　但馬　丹後　隱
岐　伊豫　土佐　阿波　讃岐　淡路　ノ二十箇國
ノ沿岸、
長崎(門司　博多　唐津　口ノ津　三角　厳原
佐須奈　鹿見　鹿兒島ノ出張所アリ、)
肥前　肥後　筑前　筑後　豐前　豐後　日向　大
隅　薩摩　壹岐　對馬　琉球　ノ十二箇國ノ沿岸、
新潟(夷港　伏木　七尾
ノ出張所アリ、)
若狹　越前　加賀　能登　越中　越後　佐渡　羽
前　羽後　ノ九箇國ノ沿岸、
函館(小樽　釧路　稚內
ノ出張所アリ、)
陸中　陸奥　渡島　後志　石狩　天鹽　膽振　日
高　十勝　釧路　根室　北見　千嶋　ノ十三箇國
沿岸、
淡水(舊港　後壁
ノ出張所アリ、梧棲)
南荻港ヨリ南方大安港ニ至ル沿岸、
基隆(蘇澳ノ出張所アリ、)
臺灣ノ北及東海沿岸、
安平(布袋嘴　鹽宮　塗葛窟
下湖口ノ出張所アリ、　鹿港)
臺中縣沿岸、
臺南(東石港ノ出張所アリ、)
北港溪ヨリ南方新溫庄ニ至ル沿岸、
打狗(東港ノ出張所アリ、)
淡水溪ヨリ南方枋寮ニ至ル沿岸、

交通

貨物ノ運送及旅客ノ往復等ノ交通ヲ助クルモノニ、通路、鐵道、郵便及電信等アリ、

(甲)通路

通路ニ二種アリ、一ヲ陸路トイヒ、一ヲ水路トイフ、マタ水路ヲ分チテ川路及海路トナスヲ得ベシ、

(一)陸路

道路ヲ分チテ國道、縣道、里道トナス、國道ハ延長二千餘里ニ達シ、縣道ハ七千餘里ニ達セリ、

(イ)國道

一等　幅七間ニシテ、東京ヨリ各開港場ニ至ル道ナイフ、

二等　幅六間ニシテ、東京ヨリ、伊勢ノ大廟及各府縣廳、各師團本部、各海軍鎭守府ニ至ル道ナイフ、

三等　幅五間ニシテ、東京ヨリ各府縣廳ニ至ルモノト、各府縣廳ヨリ各師團本部ニ至ル道ナイフ、

(ロ)縣道

四等　幅四間乃至五間ニシテ、各府縣廳及各師團ヨリ各旅團ニ至ル道ナイフ、

五等　幅四間乃至五間ニシテ、各府縣廳ヨリ各都會ニ至ル道ナイフ、

六等　幅四間乃至五間ニシテ、著名ノ都會ヨリ郡縣ニ至レルト、マタコレヨリ開港場ニ至レル道ナイフ、

(ハ)里道……一ノ小地方ヨリ他ノ小地方ニ至ル道ナイフ、

(二)水路

河川、湖沼、運河及海洋ハ水路ナナスガ故ニ、水路ニハ川路及海路ノ二ニ區別セザルベカラズ、サレドモ、我ガ邦ニハ大ナ

部ニ至ル道ナイフ、